

聖徒の道

4

1958年3月17日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）第8巻第4号 1964年4月1日発行 SEITO-NO-MICHI



1964年 4月号

予言者のことば ……大管長デビド・Oマ・ッケイ…202

家庭生活の設計図

伝道部長メッセージ……………

ダワエン・N・アンダーセン…205

天の窓

副会長の役目 ……………209

西中央地方部地区大会 ……………212

掛け橋となって働く者 ……………221

<フェローシップping委員会の働き>

フェローシップpingのために ……………207

子供日曜学校ガイド ……………229

系図の道しるべ ……………233

MIAリーダー ……………234

福音の中に占める扶助協会の位置……………

ダワエン・N・アンダーセン…238

ジョセフ・スミスの生涯(17)

扶助協会文学用レッスン……………240

扶助協会レッスン ……………247

支部だより…213 伝道部だより…218 読者だより…220



表紙

族

「私はこの世で本当の幸福が得られる所は家庭をおいてほかにないことを知っている。家庭を小さな天国にすることは私たちにできることである。まことに私は、理想の家庭は天国の延長であると頭の中にえがいている」。デビド・O・マッケイ

西中央地方部長鈴木正三兄弟の家





予言者のことば

家庭生活の設計図

大管長 デビッド・O・マッケイ



ずっと前のことであるが、後に大管長となられたジョセフ・F・スミス長老が副管長で居られたとき、古い末日聖徒大学の卒業式で次のような演説をなさった。

「諸君は此世のためばかりでなく永遠にもそなえて修養したまえ。此世のためよりも永遠のための修養の方がもっと大切である。それであるから、私たちが此世の勉強を終えて、大いなる次の世へ入って行く卒業式に臨むとき、私たちは自分の仕事がこれで終ったのではなくて、いま始まることを悟るのである」と。

私はこのような永遠の生活のためにそなえをする最も適當な場所は家庭の中にあると心の底から信じている。しかし家庭生活はこの世の幸福も受ける所である。私はこの世で本当の幸福が得られる所は家庭をおいてほかにないことを知っている。家庭を小さな天国にすることは私たちにできることである。まことに私は、理想の家庭は天国の延長であると頭の中にえがいている。

どこの家庭にもかならず肉体と霊とがある。あなたがたは、近代の技術や富の与えることができるあらゆる装飾をそなえた

美しい家をもつことができるかも知れない。あなたがたは、目をたのしませるありとあらゆる外観をもつことができるかも知れない。しかし、それでもあなたがたは本当の家庭をもっているのではない。愛がなかったら家庭ではないからである。

たとえば家でも、丸太小屋でも、天幕でも、土人の小屋でも、どんなにみずばらしい家であっても、その中に正しい精神とキリストのまことの愛と、父母は子供を思い、子供たちは両親を思い、夫は妻を妻は夫を思う互いの愛があったなら、あなたがたはまことの末日聖徒がつくるまことの家庭生活をもっているのであって、それを末日聖徒は確立しようと現在努めているのである。

このような家庭では、両親はその子供たちの心に永遠の原則を深くしみこませる責任を神から受けている。教会経営の学校日曜学校、M I A、初等協会、神権定員会などはすべて管理の手助けであり、若い者たちを強め導びく助けとなるため地上に設けられたのであるが、それは若い者たちの生活の中で見のがすことのできない大きな重要な要素であると言え、家庭の中で両親の与える永久不変の影響にとつかわれることのできるものは一つもない。

家庭はまことに社会をつくる第一の単位であって、「両親であること」は「神であること」の次に位する大切なものである子供たちの両親に対する関係は、子供たちが将来国や大きな社会と関係をもつようになるときに理想の人民であることができるような関係でなくてはならない。

教会にあつては良い教会員であり、国にあつては良い人民で

ある秘訣は家族の中にある。両親がその子供たちを育てあげる責任を国に移すときがあるならば、国家の安定はむしろ損傷と分解が始まつていくにちがいない。

子供の性格は主として十二才になるまでにつくられる。この十二世間に子供は学校に居る時間の十六倍の時間を家庭でついたり、教会に居る時間の百倍以上の時間を家庭でついたり見つめられる。このように家庭の環境が及ぼすたえ間のない影響と、両親の与える注意深いあるいは不注意な訓練によつて大部分一人一人の子供の性格がつけられるのである。

良い家庭であるためには、食事と睡眠と適当な運動に両親が示す指導と模範による健全な習慣が必要である。

家庭は子供が自制を学び、他人のために自分をかえりみないで善いことをしなくてはならぬことを学ぶ最もよい所である。それで、子供たちが大きくなつて外へ出て行き遊び友だちと交じわるようになったとき、子供たちは遊び友だちを無視したり仲間に入れないなどしたりしてはいけないことが一層よくわかるにちがいない。後になつて自然と社会とが必ず要求するようになる服従の精神を身につけるには家庭が一番よい所である。

家庭は愛によつて永続させることができる。それならば、家庭の中に愛を満たそうではないか。あなたが物質に不足をして居ようとも、勉強し働らき、そして祈つてあなたの子供たちの愛を失なわないようにしなさい。

子供は家庭の中に避け所、すなわち外界の危険と悪から守られる場所があると思う権利がある。家族は一人のこらず完全に

一致してこの必要を満さなくてはならない。

私たちの家庭は今よりもっとみりよくがあるように、また私たちの娯楽が今よりもっと家庭を中心にして行なわれるように強調したいと私は思っている。

両親は子供たちの先に立って教養を身につけ、喜んで子供たちの質問に答える気持ちを見せなくてはならない。いろいろな質問をしている子供はあなたの生活を幸福にしているのである。時々自分の仕事をさしおいて子供たちがためになる遊びをすることを奨励し、数時間を自然の研究についてやすことのできる両親をもつ子供は本当にしあわせである。

人間の最も貴い財産は牛や羊の大群を養う広大な牧場でもなければ、豊かな実のりのある農場でもなければ、森林でもなければ、鉱山でもなければ、莫大な富を出す石油坑でもなければ工場でもない。私たちのもつ最大の資産は、その性格によって大部分国家の将来がきまる子供たちであり青年男女である。

あなたは力強い国民をもちたいか。それならばあそこの家庭をいつも清潔にしなさい。あなたは非行と犯罪の数をへらしたいか。それならば破壊された家庭の数をへらしなさい。子供たちが気高い性格をもつか野卑な性格をもつかを主としてきめるのは家庭であることを、今こそ文化国家の民は悟るべきである。それであるから、両親と国家とは健全な家庭をつくることを何よりも重要な目的としなければならぬ。

家庭の時間を固く定めていつもこれをつづけなさい。いつもあなたの子供たちのそばに居りなさい。子供たちと一しよに折り遊び、そして礼拝をしなさい。以上は教会が与える勧告で

ある。

ゆりかごの時代から今の時代に至るまで、私の家庭生活は、私に道徳と靈にかかわる標準を与える最大の要素であり、一生の方針を形づくる最大の要素であったと、ためらうことなく私は断言する。誠実と、礼儀と、言行一致と、利己的でないこととは、私の父の家庭と私の家庭で、私の両親その他の人々の生活に模範となつてあらわれている主たる美德であつて、それらは人々にとって守りであり導びきであることが実証されている。

私が家庭すなわちホームHOMEという字をどうつづるか、あなたがたは知っているか。それはすなわち

Honor (尊敬)

Obedience (服従)

Mutual service (互いの奉仕)

Eternity of the marriage relation (結婚の永続)

であつて、これらの中には生活と救いの原則が子供たちに教えられなくてはならぬという精神が含まれている。

人間のもつ最も貴い財産はその人の家庭である。家族のきづなは死線を越えて永久につづくという神聖な保証の中に私は靈感を見出す。神権の権能による「結び固め」によって愛する者たちが結ばれるとき、それは愛の如く永久に靈の如く限りなくつづくのである。このような結婚は「不死不滅」と「人類永遠進歩」の教義にもとづく結婚である。

天の窓

今から十二年前、宣教師のうちの一人がヴァイナル・マース伝道部長にむかって次のように聞いていたことを思い出します。「日本人は今惨憺たる戦いを終ったばかりで、飢えをしのがやつのことですからとてもお金を教会に納めることなどできないので什分の一にかまっています。それですから、私たちが什分の一の原則を教えることをとり除くことができないものでしょうか」。そのときマース伝道部長は、什分の一の原則は神の誠命であるから、もしも会員たちが主なる神を信頼して什分の一を納めるなら、会員たちは神の助けを得て財政上の保証と繁栄とを得るであろう。それは会員たちが什分の一を納めない場合よりもずっと早く来るにちがいない



伝道部長

ダワエン・N・アンダーセン

いとはつきつきり言われました。

什分の一の歴史はイスラエルの歴史よりも古く、イスラエルの族長であるアブラハムは「大いなる大祭司」であるメルケゼデクに、すべての物の十分の一を贈り、(創世記十四〇十八—二十参照)、後にイスラエルと改名したヤコブは主なる神に「あなたが下さるすべての物の十分の一」をかならずささげますと誓約をしました(創世記二十八〇二十一—二十二参照)。またイスラエルの子孫がエジプトから連れ出された後にも、同じ什分の一の誠命が神から与えられました(レビ記二十七〇三十・三十二参照)。そして、イスラエル人が什分の一の律法を忠実に守ったかぎり彼らは繁栄したと歴史に示してあります。しかし、イスラエル人が什分の一の誠命を守らなくなったとき、彼らは衰えてしまいました。イスラエルの子孫に与

えられた最も強い非難の一つがマラキ書に於てあります。ここに於けることは、現在の私たち末日聖徒たちにとつても、たいそう適切なことばであります。

「人は神の物を盗むことをするだろうか。しかし、あなたがたはわたしの物を盗んでいる。あなたがたはまた『どうしてわれわれには、あなたの物を盗んでいるのか』と言う。十分の一とささげ物をもつてである。わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉にたずさえて来なさい。これをもつて私をこころみ、わたしが天の窓を開いて、あふれるめぐみを、あなたがたに注ぐか否かを見なさい」(マラキ書三〇八・十参照)。

什分の一はイエスの御在世のうちにもまだ行なわれていました。そしてイエスはこの律法を良しと認めてお教えになりましたから、什分の一の律法は、使徒の時代もずっとつづけて行なわれました。しかしながら、什分の一の神聖な性格は「舊教の時代」のうちに失なわれたので、それはキリスト教の教会の間では役に立たない原則になつてしまいました。そして、主なる神は「完全な福音」をジョセフ・スミスに回復なさつたとき、この什分の一の原則も「神の子ら」に返して下さつたのであります(「教義と聖約」第百十九章参照)。

主なる神を「試み」、自分の什分の一を正しく全部納めている人々は、この原則がまことの原則であるという熱烈なあかしをもつて居ります。ブリガム・ヤング大学前総長のアーネスト・L・ウィルキンソンの言われる「什分の一」のあかしを、あなたがたにも知つていただきたいと思ひます。

「この財政上の義務を私が固く守るときには財政的にめぐるにちがひない」と考えることは哲學的にはむづかしかったが、現実的

にはいつもそのようにめぐみを受けたと、私は以前それとなく言つたことがある。そのことをお話しして私の「あかし」をおしまいにさせていただく。私がジョージ・ワシントン大学の法学部三年生を終つたとき、私はハーバート大学でさらに深く法律を研究するための奨学金を受けていた。それで私はもう一年法律に関する訓練を受けるためにハーバートへ行く準備をしていた。ところがワシントンへ出発するに先き立つて、私は会計のしめくりをして見て、私がその年に納めるはずの什分の一に約二百三十ドルほどの未払いがあるのを知つた。私は、自分の支部の支部長に納めるべきものをすっかり納めないで出立したくなかつたので、この二百三十ドルを借りられるかどうかを知るためにそれまで一度も行つたことのないワシントンD・Cの一銀行へ足を運んだ。私はひじょうな恐怖と不安を抱いて貸附係のところへ行つた。彼は私を知つて居なかつたし、私はその銀行に少しの預金もして居なかつた。本当に私は預け入れる金になかつた。そういう事情の下では、私が銀行から金を借りたいわけを話すのが一番良いことであると私は考えた。そこで私がわけを話そうときめた時、その銀行員は私の顔をじつと見て「君、もしも君が、什分の一は金を借りても納めなくてはならないと考えるほどの性格をもっているならば、この銀行は喜んで君にその金をお借しする。君がそれを必ず返してくれることは疑ひない」と言つた。

「私は良心に少しの責めも感じないでハーバードの法律学校へ行つた。そこへ行つてから一ヶ月もたたないうちに、私は一通の手紙を受けとつた。その手紙の中には、西部から来たある有名な歌手がボストンで市街電車の経営をしているボストン・トランシット・カンパニーを相手どつて訴訟を起している。訴訟というのはこの市街

電車の会社の怠慢によって、彼の資本である声の一部出なくなったからである。そして原告である歌手の言うところによると、彼女がボストン市中にある岡の一つを下っている電車に乗っていたとき、その電車のブレーキが急にこわれた。それで彼女は坐席から投げ出されてあごに擦過傷を負った。そして、この衝撃のために彼女の歌声が悪くなってしまったのであるという。そして、彼女はボストンで数人の弁護士に依頼したが彼らはこの事件にあまり熱を入れていないので、私に一つ仲間入りをしてこの事件の訴訟を引受けてくれないか、と言って結んであった。

このような事件に勝つかどうか考えてみると疑いがあつたが、それでも私はこれらの弁護士を訪問するためにボストンへ行った。だれでも若い弁護士は最初の事件を好むからである。しかし行ってみると、彼らは私が疑問をもっているよりも、もっとその事件に勝てるかどうか疑問をもっていることがわかった。全く、その裁判は二三週間のうちに始まるはずであるのに、弁護士たちは今にも事件から後退して告訴をしないという状況であつた。弁護士たちはそれまでに町中の有名な医師を数人たずねたが何れも証言をすることをことわった。というのは、あごの負傷と声のわるくなったこととの間に何らの因果関係もないと考えたからである。しかし、私は一日かそこらそれについてよく考えてみると弁護士たちに話した。実際私はこの事件からのがれるための旨い理由を考え出したと思ったが、家へ帰る途中に私はこのことについて折った。それは私がこの歌手をひじょうに尊敬して居り、この歌手が虚偽の主張をしているとは信じなかったからである。

私はそれから二日ほど考え且つ折つたが、この特殊な主張を

正当であるとする方法はないと考え、弁護士の事務所へ行って私はだめだと思ふと言おうとして、ハーバート・スクエヤを通りぬけて行くために出かけた。その日私がハーバート・スクエヤを通りぬけようとした時、私は当時おそらくアメリカ第一の音声学研究所であつたオハイオ州立大学音声学研究所長を勤めていた私の旧師とばったり出会つた。私はすぐさまこの奇妙な法律上の事件を話し、音声学の方面におけるあなたの経験から見ても、あごの擦過傷で声が出なくなると思ふかどうかとたずねた。すると旧師は私の顔をじつと見ても「アーネスト、私がなぜ今日までハーバートに居ることをのぼしたかわけが今わかつたよ。私は昨夜すっかりしたくができていた。私はもう一日滞在をのぼす特別な理由は何もなかったが、何かわけがあつて滞在してゐなくてはならないと今感じた。私がこの特別な事件のために入用であることがわかつたよ」と言つた。そしてまた「もしお前が私と一しよにボストンの公立図書館へ来るなら、今アメリカに三部しかない有名な科学書の一部を借り出してあげよう。その中には高度の芸術的氣質をもつた芸術家が、その声もしくはほかの才能を微傷によつて損じたことがある約百件にのぼる事件の考証がのつてゐる。」とつづけて言つた。私はすぐさま旧師の言葉通りに公立図書館へ一しよに行き、そこでその考証のしるしてある本を借り出した。私は旧師になおハーバートに滞在して証人の役をして下さるやうにたのんでその同意を得た。私は旧師がウィーンにおいてこの特殊な部門の訓練を受けて來られたことをこの時知つたからである。旧師はこの事件の主な証人となり、その結果この有名な歌手は受けるに足る寛大な判決を得た。私はそれによつて報酬を得たが、それは私がハーバートの法律学校で訓練を終了するのにきわ

めて役立った。これを偶然の一致と呼ぶ人もあるであろうが、私は全くそうでないと信じている」(終り)。

またヒーバー・J・グラント大管長は、

「私は次のようにあかしをする。……また私のするあかしが真実であると私は確信している。……すなわち、絶対に神に対して誠実であって、これまで什分の一を正しく納めている人々は、神から知恵をたまわってのこりの九割を有効に使用する能力ができています。

これはその人々にとってずっと価値あることであるから、その人々は主なる神に正しく什分の一を納めていない時より、のこりの九割で一層多くのことを完成しているのである」と言われました。

またある人が「私が完全に実行して数々の祝福を受けるよう、什分の一とは何であるか話してもらいたい」と言ったことがあります。これに対して十二使徒評議員会のジョセフ・フィールディング・スミス長老は次のように答えて言われました。

「教会員の得る利益もしく増加の一割は毎年教会の什分の一基金に納めるべき什分の一である。月給、給料、遺産、相続財産、または牛羊等の群の増加、農産物の収獲、そのほかいかなる種類の所得であってもすべて什分の一の律法の対称となる。このように寄附された財産もしくは金銭は、それが教会の什分の一基金に納入されなければ、本来必要な十分の一を払っても什分の一の律法に従ってはいない。十分の一の金をどこへ寄附しようかということは個人の選択に任されてはいない」。

主なる神の制度は最も公平正当であります。働らいて給料をとる者は、富んでいても貧しくても、一人のこらずちょうど十分の一を納めるように要求され、それで等しく神と共に働らく者となり、等

しく神の祝福を受ける資格があるのであります。

什分の一を納める者は貧富にかかわらず一様に、信仰が強くなり利己的でなくなりません。什分の一を納めるならば、神がお与えになる金をむだに使うことなく賢明な使い方をするようになります。すべての物は神の物でありますから、まことに私たちは受ける物の十分の一を神にお返しすることができます。神は私たちが什分の一として納める僅かな金がなくともおすみになります。私たちが神の祝福なしではよくやって行くことができます。あなたたちはお金を受けとった時にまず自分の什分の一を納め、それから残りを自分の生活に使いなさいと勧告されています。こうする時には必ず什分の一をいつも納めることができます。「天の窓」があなたとあなたの家族の人々に開かれるにちがいありません。おそらくこれがあなたの得ることのできる最大の保険証券であります。主なる神は「この什分の一を納めたる者は人の子の来る時火に焼かるることなし」と仰せになっていきます(「教義と聖約」六十四〇二十三参照)。

あなたの什分の一を納めて主なる神を「試し」、そして神が「天の窓」を開いてあふれるめぐみをあなたに注ぎたもうかを見なさい。(詳細はオスカー・マッコンキー著「神の王国」第十八章を参照して下さい)。

副会長 の役目

註(註副会長とは副管長、副伝道部長、副
地方部長、副支部長などいわゆる「顧問」
の地位にある人々)

末日聖徒イエス・キリスト教会の中には多
くの役職があります。その中には全教会のあ
る部分または全部を管理する中央の職もあれ
ば、教会の中の一地方にあってそのある部分
または全部を管理する地方の職もあります。

この中央の職と地方の職には各々また二つ
の基本的の区別があつて、神権に関する役職
と補助組織に関する役職とがあります。

中央の組織でも地方の組織でも、神権の役
職ならびに補助組織の役職の中で大ていの場
合三人の人が会長会をつくつてこれらの組織
の管理をします。(七十人会の会長会とアロ
ンの直系がその地位にすわる管理監督とは、
いちじるしい例外であります)。

管理の定員会が組織されるときには、それ
が教会の大管長会であつても、地方部長会で
あつても、支部長会であつても、定員会の会
長会であつても、ある組織の会長会であつて
も、それらの会長会の長を選んで任命をする
のは正しい権能を与えられた団体でありま
す。またこれらの会長会の長である人は、正
しい権能を与えられている団体の承認を経て

自分の「副会長」(もしくは顧問、補助など)
を選ぶ特別の権能を与えられています。

そして、特殊の管理を行なう権能の鍵は会
長会の長が持つて居て、この人は召されてあ
る特殊の仕事を行なう責任を帯びている人で
あります。それでありますから、「副会長」
は会長会の長に属している人々であります。

「十二使徒会」の「大管長会」に関する関
係について予言者ジョセフ・スミスの言つた
ことは、この点をよく説明しています。す
なわち、

「十二使徒会は大管長会すなわち私……そ
れから今私の副管長をしているシドニー・リ
グドンとフレデリック・G・ウィリヤムズ以
外の何者にも従属していない(そして私の居
ないところには十二使徒会の上に立つ大管長
会もないのである)。」

註。カッコの中はビー・H・ロバーツ著

「末日聖徒イエス・キリスト教会史」二の三
七四頁より引用。

この場合、予言者ジョセフ・スミスはとく
に「十二使徒会」と「大管長会」の関係だけ
を述べているが、実際は会長会というものの
性格を一般的に言っているのであります。予
言者のことばを要約すれば、会長のないとい

ろに会長会はない、または支部長のないとこ
ろに支部長会はない、ということでありま
す。「副会長」である人々は、その人々の役目が
会長会の長に属する「副会長」であるために
権能も責任も持っているのでありますから、
会長会の長がかわるときにはその人々の権能
も責任もなくなるのであります。

しかしながら、「副会長」である人々が会
長会の長に属しているからと言って、その人
々自身の責任がないというわけはありませ
ん。会長会の長は、自分の管理に属する全部
の責任を検討した上で、自分の「副会長」た
ちの持っている能力、素質、経験および一般
的の資格をたしかめた末、その一人一人にあ
る一定の責任を委託します。この際、会長会
の長はもちろん、「副会長」たちも自分の義
務を知って、自分たちの心得ているところを
できるだけ忠実にこなすことが絶対に必要で
あります。

「副会長」たちにとくべつな責任が委託し
てあるからといって、もちろん会長会の長が
これら「副会長」に対する基本的の責任をも
たなくてもよいというわけではありません。
しかし、「副会長」たちに特定の任務がす
でに与えられている以上、会長会の長は「副会

長」をだし抜いて仕事することなく、「副
会長」を正しく待遇して彼らにその義務を行
なわせ、彼らを通して仕事をしなくてはな
りません。

しかしながら、「副会長」はまたすべて自
分の仕事をするに当って、自分は会長会の長
を援けるために召されているのだということ
を忘れてはなりません。「副会長」は自分た
ちが共に召されている召しに関するすべての
事において、自分たちの上に立つ長に熟考し
た意見と最良の判断を言わなくてはなりま
せん。また率直に言うべきであります。「副
会長」は会長会の長の言うことに口を合
わせたハイハイと言っているために召されて
いるのではなくて、目前にある事務について
自分の老えを腹藏なく言うために召されて
います。自分の言った助言の中には一つも個
人的の動機は含まれてなくて、「父なる神」の
御国の働かきを促進するために誠心からすべ
てのことが行なわれなくてはなりません。

「会長会」の長は鍵をもって居り、また与
えられた仕事に対する基本的の責任を帯びて
居りますから、いろいろな事がよく考慮され
たら、決定するのが彼のもつ特別な権能で
あり義務であります。同様に「副会長」たち

の義務は自分たちの上に立つ長の行なった決
定を支持することでありま。それでありま
すから、決定がなされたならばそれは会長会と
しての決定でありますから、その決定がされ
ない前にどんな意見が述べられたとしても、
与えられた事についての感情と行動には完全
な一致が会長会になくなくてはなりません。言葉
をかえて言えば、「副会長」たちは会長会の
長に対して完全に忠誠でなくてはなりません。

一つの出来事につき前に述べたことを説明
してジョセフ・F・スミス大管長は次のよう
に言われました。

「支部長（監督）はその支部（ワード部）
を管理する管理の役員であって、支部長（監
督）がその支部（ワード部）を管理している
ときには、その副支部長たちと支部の会員と
は支部長の管理の下にある。支部長は、支部
長の地位を他にゆずりわたすことはできな
い。支部長はそれを他に与えることはできな
いのであって、もしも他の者に与えるなら、
支部長は神権制度の中にある神聖な原則の
一つを破っているのである。支部長は第一
第二副支部長に命じて自分の意志を行なわせ
自分の望むところを実行させ、自分のねがい

もしくは自分の命令を執行させることがき
る。しかし、これをするに当って副支部長た
ちは支部長として行動することなく、管理す
る権能のある者の命を受けて行動するのであ
る。副支部長は支部長から独立して無関係に
行動するのではなくて、支部長に従属してい
るから全く支部長の命に従って行動するので
ある。……

われわれは委任したり任命したりすること
ができる。すなわち管理の地位にある人々は
その助け手に援助を要求し、働らきを達成す
るために命を下すことができる。しかしなが
ら、援助をする者が行動をする時には、いか
なる場合にも管理をする権能のある者によ
り、その者と共に、またその同意の下に行な
うかまたは助言を受けて行なうのであって、
独立して無関係に行なうのではない。……

すべてこれらの事を行なうに当って管理の
役員は頭首であり、頭首として遇され、また
その地位は彼と手をつないで働らく者の中で
神聖に保たれなくてはならない。福音の精神
および神権の権能と律法とについて正確に理
解をしている人は、だれであっても自分の指
導者を出し抜いて事を行なったり、指導者の
もっている希望や権能と厳密に一致しないこ

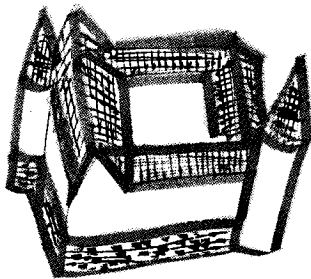
とを片時といえども行なおうとしないであろ
う。指導者に従属している人が、その指導者
のもつ権能をうばい始める瞬間から、その人
はその人の地位にふさわしからず、自分の義
務を理解して居ず、自分の召しにふさわしい
行ないをせず、危険な性格をもっていること
を自分の行動によって証明するのである。そ
の人は悪い模範を示し、人をあやまらせ、人
をあやまちにおち入らせるにちがいない。す
なわち、その人が自己を管理する役員の命に
反し独立して事を行なう瞬間からそうなるの
である。またその人が、そうした行動をかえ
ないならば、その人は全く道を離れ、その人
に従がう者たちも同じように道を離れるにち
がいない。

註。ジョセフ・F・スミス大管長著「福音
の教義」第五版（一九三九年）一五八—
一八六頁参照。

終りに臨んで、会長会の役員たちは力をあ
わせて働らかなくてはならぬ、と言いたいと
思います。「副会長」である人々は、自分に
割りあてられたとくべつの義務を果すだけで
満足することなくして、全部のプログラムが
成功を収めるように充分に努力して会長会の
長を助けなくてはなりません。会長会の長は

またその代りに、自分に属する「副会長」の
功を充分に認めるべきであります。
「副会長」は、会長会の長に従属する「副
会長」として援助を与えるために召されると
いう基本の原則に一致して、会長会の長が解
任されるときには「副会長」もまた自動的に
解任されるのであります。

（ブリガム・ヤング大学、哲学科教授、デ
ビッド・H・ヤーン・インブルーヴメントエ
ラ千九百六十四年一月号）





西中央地方部地区大会

一九六四年最初の西中央地方部地区大会が二月八、九日、柳井市に於て、二月十五・十六日、京都市に於てそれぞれ意義ある大会が行われましたので、今日はそのお便りを差し上げます。柳井では福岡、広島、柳井支部の会員が約一〇〇人、京都では、阿倍野、岡町三の宮、西の宮、京都、名古屋、金沢、岡山支部の会員達約四〇〇人が伝道部、地方部役員の話しに耳を傾ける姿があまりの熱心さにその姿が美しく目にうつったものです。話し手が神様の御意を心から話そうとするのに対して聞きてが心から聞こうと努め、また神の御守りが大会の上にあつたからだと思つて居ます。我々はこの大会に於て学び得た事は、神様が今、私達に何を欲して居られるか、私達は今何が出来るかについて心に強く認識をし、それぞれの支部に帰つて行つた事と思われまふ。今ここで再度、伝道部の方針を再認識して見まふ。

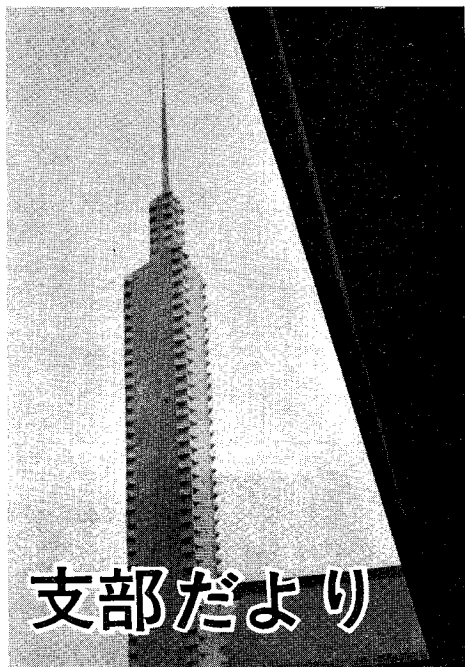
父なる神が永遠のお方であり、イエス・キリストが神の子として地球に遣はされ、彼の

伝えた言葉が神様の言葉である事。現世に於て神のみ業を行う事の出来るのはキリストと同じ権能を持つ大神権者である事。又、神権者を助ける良き姉妹である。兄弟が良き神権者となる様に日々努める事が大切な様に、姉妹は神権者の良き助け手となる事が出来る様に日々努めなければならない。その為に本年度は次の三つのプログラムが特別にあります。

- 一、アロン神権プログラム
- 二、ホームティーチング
- 三、フェローシップング

このプログラムが良く実行されて現在の伝道部の組織が解体され、ワード部ステーク部という本格的な組織が出来る様に皆様と共に祈つて居ます。この大会で京都支部、柳井支部の皆様が献身的な協力があり盛大に行う事が出来ました事を紙上をかりまして感謝致します。皆様の支部の上に神様の豊かな祝福があります様に。

(記 角山)



支部だより

新潟 支部

冬の間は集会には活気がみられず、各補助組織も、会長会の面々が動いているのが現状で会員一人一人は、プログラムに参加しておるはずなのに、そうでないと思われるほうが多く、全く停滞しております。

これを読んでいる頃には、今の状態から抜け出して、会長会も新しい顔ぶれのもとで活気ある活動を持っていたいものです。

幸い天候さえ悪くなければ、松川支部長も各集会に出られる状態になっており、会員達も心強く思うのは当然。

MIAに家から自転車教会に來られた時

は、安心しても良い状態、僕等の知らないうちに努力して、早く回復しようとしている。支部の会員にとって大きな力である。

支部長 松川 護兄弟
第一副 大橋 中人兄弟
第二副 五十嵐隆夫兄弟
書記 福島克明兄弟
佐藤 隆兄弟

より責任を行うことの出来るように組織されているはずだから、これが完全に動くなら非常にうまくゆくだろうと思われます。

会員は一日に十分でいいから聖典を読むように努力してもらいたいものである。そして集会の時には充分に質疑を行って福音の知識を豊にしてほしい。

若い兄弟姉妹は、自分も教会の中の一本の柱であることを自覚してほしいのだけど、と

にかく春とともに今までの眠りからさめて躍進するように努めたい。(記 福島)

札幌 支部

二月は北国では一番、しばらくの月で札幌も先日マイナス二十度を越えた日もありました。しかし皆元気に教会に集って居ますが各支部の皆様はいかがお過ごしですか？

二月十六日午後六時から約二時間教会でフアイアサイドが開かれました。この会には会費二十円にもめげず四十人位も集まり、お菓子を食べながら「私の裏側」「おじいさん、おばあさん」「障害物競争」等々のゲームで楽しい時間を過ごしました。

又、二十九日六時半より、教会に於て食事会が行なわれました。いつものように大人百円、学生は半割がきいて七十円。姉妹達が腕をふるっただけあって大変美味しい食事であった。暖かい竹の子御飯にみそ汁と典型的な日本料理で、食事をしながら各々の楽しい会話、それが済むと倉見兄弟の司会でしりとり歌等支部長さんを始め四人の宣教師も一語になつて笑いの絶えないゲームとなり、又その上、久しぶりに鮫島兄弟の十八番の落語(彼に言わせる)と聖典の次に大切なのが、落語の本(本さうだ)が披露された大腹の皮を増々よじらしてくれた。

又今月ハワイからのルイ長老が帰国され、後任に阿部野支部からニルセン長老がこれました。

甲府支部

○一月一日

新年を寿ぎ、今年も大いにがんばろうというテーマのもとで、新年会をひらきました。おぞうに（これについては、見解の相違がありました）と、ゲームだけでしたが、元旦をたのしくすごしました。おぞうには、ある人いわく、どうにもならぬ、というものは、ある人ようですが、皆、がまんしてたべて下さったので安心しました。あとで胃の薬をのんだ人もいるようでしたが……。

○一月二十八日

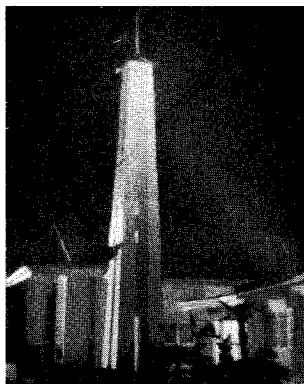
エンサインローレル好例のキッチンカーニバルを盛大に行いました。おりから雪もまじったの恵天候にもめげず。教会につどった人々に神の御恵みがありますように。主が命じたもうたことは、前もってある方法がそなえてある、という句を、より確実なものとした日でした。お料理とフッシュョンショーで幕をあげ、ジェスチャーが始まったころには教会堂は活気にあふれ、いつやむともしれぬ雪もとけてしまいうなふんいきでした。

さて、この前の支部だよりのとき、YMCについてかきましたが、その後いろんな点で壁にぶつかってしまい、どうしても維持できず、みなと話し合った結果、内容はかえないで、名称をMIA、エンサインローレルのグループとして、新しく出発することになりました。毎週土曜日の三時から一時間半、パイプ

回として、計画しました。今年から活動開始でしたので、まだおちついていませんが、さいわいゼミナールの教師も、山本輝子姉妹がして下さっているので、心づよい限りです。グループ一月、がんばろうと意気込んでいます。MIAの会長さんも新しくかわりました。YMもYWも、会長さん以下、大体が学生です。YMの会長さんは高校二年生……これをみて、若さがいっぱいMIAとわかってもらえるでしょう。この若さと、そしてファイトで神の御国建設に努力するそうです。甲府支部ではめったに支部だよりをかかないのですが、これから折あるごとに、かいてみたいと思います。各支部の兄弟姉妹の皆様よろしくおねがいします。（三井姉妹記）

東京北支部

お元気ですか？ 二月の北支部は別に書くほどのことがなにもなかったので、困ってい



る。まさか教会に二八（にっばち）じゃないけれど。

まあ、とにかく写真でも見てもらおうかなこの写真は二月九日の日曜日の夜撮ったものなんだけど。あの日は確か雪が降ったはずなんだ。写真から見るとね、何時頃か降ったかは忘れられけど、教会堂に降りそそぐ雪があまりにも美しいので、岡田兄弟に照明をつけてもらってシャッターをきったもの。実物の方がずっと美しかった。見せたい光景だったね。本当に。

二月十四・十五日は京浜地区の支部合同でスケートのレクリエーションがあったけど、北支部の連中にとってはすごくゆかいというほどのものではなかった。MIAの佐藤兄弟には悪いけど。MIAといえば最近のMIA出席人数は百人を下まわることはないんだ。やはり、教会堂が出来たことは大きいね。

Mメン・グリーンナーの先生は誰だと思う？ 酒井兄弟なんだ。（別に笑うことはないだろう。大部上手になって先生ぶりも板について来たよ。教師のうちでMIAの先生が一番難かしいと思う。）

また、最近の日曜日というのはどうしてこう忙しいだろう。ぎっしりと集会がつまっている。でもそれだけ皆んなが、活気づいてきたといえるかもしれないね。典型的な安息日の日をちょっと書いてみる。

九時神権会。最近皆んなよく出てくる。最近毎週、地方部や伝道部から訪問者があ

支部だより

るので、その為にも皆早いかな。地支部の役員が遠いにもかかわらず早くから来ているのに途中から神権会に顔を出すなんてあまりいい図じゃないからね。神権会が十時に終ると、祈禱会と、フェローシップ委員会。礼拝室には十時二十五分まで入れないからうしろのホールで待っているわけ。二十五分から三十分までの間は毎週、聖書を読むことになっているんだ。今週はマタイ伝五章一節から十節までというふうだね。日曜学校、聖餐会と続くのはあたりまえだけど、そのあと毎週バプテスマがある。聖餐会が終わってすぐバプテスマの儀式を行ない、それが終わってやっと先月書いたように扶助協会とか日曜学校などでお作りになる御食事にありつけるわけ。さあそれからが週によって、指導者会あり、フアイア・サイドあり、L・D・S講座あり、またその間をぬって地方部の役員のゼミナール。（これがまた最近はずいね、神権に力を入れている為、アロン神権主事なんて地方部と伝道部からのパンフレッドだけでフーフーいっているよ。）

今月はこの辺で、来月は面白い事沢山書けると約束できる。じゃ身体に気をつけて、又来月。

三ノ宮支部

愛する兄弟姉妹、御気嫌いかがですか。しばらくこの「支部だより」では御無沙汰致しておりますが、この度文芸委員も新たに組織され、今後は毎月とまではいかなくとも隔

月にはこの欄に顔を見せるつもりでおりますのでどうぞよろしく。

このところ我が支部に於ても出席者がふえこの秋から着工される予定の大きな会堂が待ち遠しくなりません。

特に我が支部の特色は男性が多いことで実に頼もしい限りです。

山邑陽一支部長をはじめ、当伝道部に於ては最も若いかとも思われる部長会もその働きは仲々活発で全ゆる面に於て大活躍。

又文芸委員の他に、スポーツ委員も組織され昨年関西地区のスポーツ大会に於て見事優勝を遂げたバレーボールをはじめ柔道（男子のみ）登山など健全なる肉体の鍛練に努めております。

今のところこの三つの部門だけですが、将来はサッカーや剣道等も取入れると仲々のフアイト。いずれ皆様の支部との対抗試合もあることでしようし、その時にでも彼等のタレントを披露致しましょう。

（三ノ宮支部文芸委員記）

広島支部

全国の兄弟姉妹の皆様、元日のおめざめはいかがでしたか。きつとスッキリなさったことでしょうか。

さて、今年こそは、なんて思われた兄弟姉妹もあることと思いますが、その、今年こそは、が、かないますようにお祈りしてます。

冬もいよいよよたけなわ、急速に寒さが増し

てきた今日今頃です。

さて十二月の終りからの広島支部の様子をお知らせいたします。

十二月二十九日に支部長会が次のように改正されました。

支部長 西原良男兄弟
第一副支部長 住吉正博兄弟
第二副支部長 古閑久義兄弟
書記 木本忠夫兄弟

この有望な兄弟達で成る支部長会に大きな



な期待が持たれています。

一月二日、MIAより日本三景の一つである宮島の弥山に登りました。頂上でのリクレーションに、なわとびやハンカチ落としなどがあり、遠い昔を思い出して、新春にふさわしく、すがすがしい一日を過ごすことができました。

一月十五日、歩いて歩いて……目的地の無の旅が続きます。らせん状に続く山道を歩くことに没頭してから約三時間、時計は十二時をすぎ、誰れからともなく声がかかりました。

支部長さん。昼食はまだですか。じゃあそろそろ昼食にしようかと適当な場所をさがして、すきやきを始める。せせらぎでねぎを洗う。水の冷めたかったこと。なべを囲こんでのすきやきの味、山の空気は良い思い出となることでしょう。

昼食をすませて又歩き始めます。バスに乗ったのが五時すぎ疲れた身体を一つのつり皮にまかせて、ネオンの輝く広島市内へと向いました。

二十日には、広島大学の女性ばかりの、ハワイアンバンドを招き、食事会を致しました姉妹達の手料理のすばらしさに加え、ハワイアンズの何とすばらしかったことでしょう。皆様にもお聞かせしたいくらいでした。女性ばかり六人にしては、手上だね。なんて変なほめ方をしていた兄弟もありました。アンコールに応え、二曲ものサーブスもあり、会場は、しばしナマ演奏に魅せられ、ウットリ。

こんな食事会ならば毎週あればいいのに。誰かがいました。食事会が成功に終わった陰に、多くの兄弟姉妹の力のあったこと心から感謝致します。

最後に、今、支部で一生懸命に働いていらっしゃる宣教師は、ステレット長老を始めとして、ヒルトン、小林、リチンス、各長老、南城、ブルックホルダ姉妹の六人の方々です。健全な身体をつくり、健全な精神をつくり今や広島支部では人間造りに力を入れています。皆様の上に神様の豊かな恵がありますように祈っています。

では皆様、またおめにかかりましょう。

西 宮 支 部

水ぬるむ三月雛祭りも間近いその日もやがて暮色に包まれる頃、朝から続いた数々の集会の緊張感からやっと解放された兄弟姉妹達は、今日最後の集会であるファイヤサイドの席に集った。皆で川柳を作ってみよう、と言ふ異色な催しだったが、始めに川柳とは人生の詩であり大衆の芸術であり又自由であって誰でもいつからでも作る事が出来る、と云う簡単な説明があり、免に角作って見よう、と云う事になった。そうして作れた数々の傑作の中からいかに教会の兄弟姉妹らしいと思われる健吟を少し紹介して見よう。

席題「兄弟」「姉妹」

○かがやく顔主の御名によりむすばれる

○握手した後は話す事もなし
○姉妹も頼む時には美人になり

(悪い気はしないので引受けてしまった)

席題「ストープ」

○手ばかりと思ひ乍らもかざしたし

○真夏にも月賦の続くストープ代

○使いたいがめんどうくさい石油の注油
(時には兄弟も不精者になる)

席題「時計」

○すすめたと安心したのが運のつき

○今か今かと時計を見れば故障なり

○ほめられても充分いばれぬ質流れ
(どうりであまり良過ぎると思った)

席題「アパート」

○オール月賦で買ひ集め隣り近所監視する

○おとなりへ気がねし乍ら口げんか

○アパートへ一人で帰る独身者
(わびしいね、早く姉妹を見つけて)

席題「いじ悪」

○善意でもないいじ悪にとられる損な性

○いじ悪をしたつもりだが通じない
(教会では無理でしょうね)

席題「やき芋」

○いりません!!顔は別の事を云ひ

○匂いだけでグットこらへる断食日

○匂いにつられふらふらと前まで行って引返し

○やきいもを食いつつ思ふスイートハート

(妙齡な姉妹の作、ポテトがいつかハートに)

川柳とは十七音を中心とする人間陶冶の詩を云われるが人間陶冶を云ふ事について或る人はこう云って居る。「人間に縮木をあてて絞

と色んな恵汗が流れ出て、その後に解脱俗した、朗らかな人間が残るのではないかと思う。その縮木の役を川柳が果してくれる様に思えてならない」今ここにあげたものは、ほんの一部であって必ずしも良い句とは云えないかも知れない。しかしそこには作者の生活の中からにじみ出す心が、又わずか十七音の中にはその姿が、そしてそのリズムの中にはその人の呼吸が身近に感じられる。

選をするにあたって(選者はその道のベテランでなくてはならない亡選は互を誤ならしめる)と云う正論から云って、その資格の無い私達だったので投票により選び出したものが所詮ベテランの目から見れば選句被句の位置の変る事もあるかと思はれる。仲には指折り乍ら字数を数へローマ字でつづる宣教師の、ほお笑ましい姿もあった。こうして短い時間であったが日本古来の文学である川柳に親しみ、川柳を愛しいつくし育てる心を呼び起した異色のファイヤーサイドも楽しい雰囲気のもとに閉る事が出来た。

三月一日 ファイナーサイドにて

旭川支部

春のおそい旭川にも三月の声と共に長かった冬の生活もまもなく終ろうと感じます今日この頃の季節になりましたが、各支部の皆様もお元気の事と思います。会員達は今まで雪のため閉ざされていた「力」を春から発揮しよう準備をしている会員ばかりです。それは、今まで指導を私達にできて下さっている

ました若松典夫兄弟が上京され、MIA会長でありました木崎兄弟が、故郷の京都にお帰りになりますが、このため支部は二人の長老が離れられましたので、会員達は二人の力をおきなうために大いになんぼっているわけです。なお、若松兄弟は中央支部、木崎兄弟は京都支部に出席されると思いますが、どうか旭川の兄弟をよろしくお願い致します。彼達を本当にりつばな神権者です。次に役員の変更にお知らせ致します。MIA、会長、大橋興(新)、神野豊子(留)、第一副会長、稲葉田鶴子(留)、第二副会長、鈴木美代子(新)、書記、狩野昌子(留)、日曜学校、会長、遠藤均第一副会長、山田次美、第二副会長、小田雄久、書記、白井アキ子、時間書記、佐々木耗子、扶助協会有長、田中静穂、第一副会長、福原生子、第二副会長、一条瑛子、神学教師、福原生子、社会科学教師、稲葉田鶴子、仕事会教師、大田原秀子、文学教師、岡部由佐恵

東京東支部

東支部二月の便り。今月は一ヶ月が29日。そのためか二月という月を意識せずに終った様に思います。東支部は学生が非常に多く、二月は皆、テストという言葉に追いまわされてしまった様ですが、三月三日に東大を目指す、重山、古川両兄弟を初め、多くの学生に声援を送りたいと思います。

今月は、船戸兄弟、藤井姉妹という二人の新しい会員が生まれました。二人共今年高三という若い人達ですが、モルモンに誇りをもつ

てがんばっておられる様子、うれしく思います。東支部は若いとは言え、支部長会をはじめとして、だんだん組織も完全に近づこうとしておりますが、今月は子供日曜学校の責任者、大川治子姉妹が任命されました。大川姉妹は毎日の保育園の先生という貴重な体験を通して一生懸命に子供達を導いています。さて、ここで東支部の一人の素晴らしい兄弟を紹介したいと思います。渡辺泰男兄弟です。渡辺兄弟の家族はモルモンで東支部の一つの家族です。そして又、その家族の中に日本のモルモンの中で一番年輩である78才のおばあさんがいます。渡辺兄弟は知識も広く、経験も豊富で、東支部の生き字引きの様な存在です。そしてそれらの知識や経験を惜し気もなく若い私達に与えて下さる事には心から感謝しています。今月東支部は、二月九日にファイヤーサイドを催した以外、特別なプログラムはなく、ただ完成を真近に控えた教会堂の仕上げに追いつみをかけています。そして三月には支部大会、更に地方部大会という大きいプログラムを背負っていますのでそれらの会が、りつばになしとげられる様にならばと思っています。この様に二月の東支部は三月の色々な行事計画に終ってしまいましたが、常に神様の誠命を忘れずがんばっています。では大きなプログラムを抱えた三月の東支部の便りを楽しみにして下さい。

伝道本部だより

バプテスマ

一九六四年一月

阿倍野 澄川 正治
高橋 啓徳
多島 秀子
横山 和子
由留木 崇
旭川 綾子
山内 綾子
福岡 綾子
下川 悦治
群馬 悦治
坂東 恵美子
河村 勝
広島 勝
石岡 允宏
関口 譲二
高橋 欣也
山崎 譲治

金沢 村本 孝
沢村 邦子
室蘭 拓司
多田 拓司
新潟 邦子
長谷川 邦子
長谷川 邦子
田中 清子
鶴巻 紀子
矢崎 昭子
西宮 輝夫
鈴木 輝夫
岡町 輝夫
秋山 義明
段山 順子
津井 順子
新田 寛一
緒方 敬子

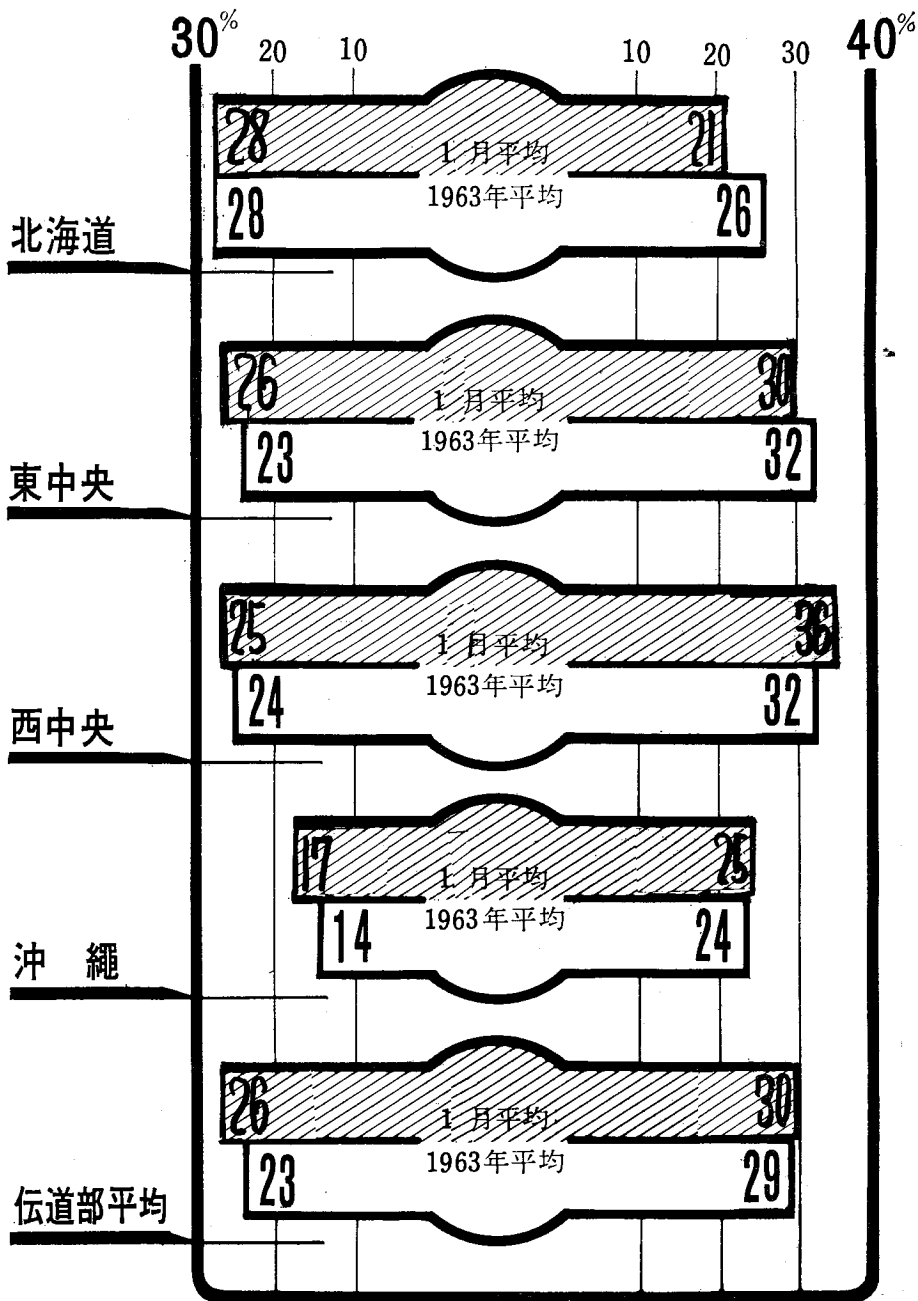
岡山 伊藤 敏
光井 敏
鶴海 養子
山本 久子
小樽 邦彦
本間 邦彦
岡村 典子
三宮 典子
岩沢 静代
竹内 啓子
札幌 啓子
穂刈 豊
河合 秀夫
熊谷 秀夫
鈴木 順一
仙台 順一
高木 武夫

東京東 東海林 定治
東京南 赤原 友子
矢吹 典子
山口 秀雄
東京西 直英
星野 直英
武川 直英
横浜 キクエ
飯田 キクエ
萩原 喜徳
清水 利宣
問馬 璋子
内田 璋子
那覇 幸子
波嘉敷 幸子
岸岡 幸子

神 権
阿倍野 相原 昭昌
麻見 寛男
林泰 元男
野呂 隆彦
阪本 義彦
矢野 義彦
日根野 義彦
平野 義彦
福崎 義彦
松崎 義彦
室蘭 義彦
千葉 義彦
広田 義彦
高橋 義彦
新橋 義彦
熊谷 義彦
小島 義彦
岡町 義彦
東宮 義彦
宮川 義彦
釜石 義彦
小杉 義彦
中村 義彦

西山 宗祐
岡山 廣太
小谷 元夫
梶谷 繁夫
水内 義繁
大内 義繁
小成 義繁
神成 義繁
田成 義繁
山成 義繁
札幌 義繁
新江 義繁
木下 義繁
大下 義繁
高山 義繁
山本 義繁
岸本 義繁
仙台 義繁
井川 義繁
東京東 義繁
渡辺 義繁
東京西 義繁
石坂 義繁
神田 義繁
田中 義繁
那覇 義繁
謝花 義繁

聖餐会 神権会



読者だより

《長老定員会》

私達の道

相良健一

日本には現在、日本人の長老によって二つの定員会が組織され少しずつ正しい組織に向って進んでいます。私達は長老として、各支部の指導者として常に協力して働かなければなりません。現在の所では各支部の支部長会がやつのところですが私達としては一日も早く各支部に一つ以上の定員会が出来るようにがんばらなければなりません。その為には今の私達がよく次の事を実行して良きしもべとなることです。

- 一、毎週の神権会におくれず出席しているか。聖餐会はどうか。
- 二、指導者から与えられる責任を喜んで受け、その責任をよくはたしているか。
- 三、什分一は完全であるか。モーセの十戒を常を守るように努力しているか。
- 四、神権者として正しく常に活発であるか又、私達はメルケゼデク神権者として与えられた責任をはたすために長老として行うことのできる儀式を全部身につけているだろうか。私達は先の

四つの事、又今の儀式の事をするにつけて全会員のため御国建設のためがんばりましょう。

〔注〕第一長老定員会各グループ又グループブリーダーそしてグループブリーダー不在の支部山形鈴木兄弟、松本飯田兄弟、甲府八代兄弟、東京東土田兄弟に御願します。今月から全支部の長老の記録を記入して送って下さい。

記録は書記の相良兄弟まで送って下さい。毎月は毎月五日です。記録が着かないときは全部欠席で不活発と見なして本部に記録を送らなければなりませんのでよろしく御願します。そして今年中に長老の出席が七〇パーセントをこえ皆んなで御国建設の為働けるように努力しましょう。

最優秀の成績をあげた奥山長老

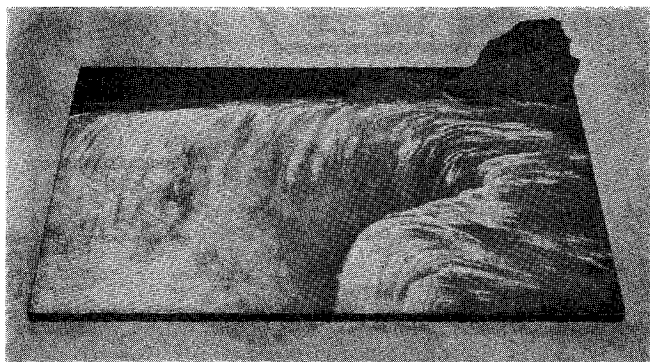
ハワイ伝道部の機関紙カ・エレレ・オ・ハワイの千九百六十四年一月号に、われらの奥山芳美長老が大活躍をしてトップの成績をあげていることがのっていますから皆様に報告して喜びたいと思います。

(奥山長老)(伝道部最高)

- | | | |
|------------------------------|-----|-----|
| 1) 1963年12月、「宣教師1人当月間バプテスマ数」 | 2.5 | 2.5 |
| 2) 1963年12月末までの伝道期間中「々」 | 1.7 | 0.9 |
| 3) 連続してバプテスマを施した月数 | 5 | 9 |
| 4) 12月中の地方部成績 | 1.3 | 1.3 |

-
- 1) 1963年12月28日まで、連続してバプテスマを施した1週の数 7
(奥山長老がトップ)

-
- 1) 1963年12月中に施したバプテスマ数 (奥山長老がトップ) 2.5



土田 準子 (名古屋支部)

昭和三十六年五月

名古屋美術館盆石展に出品



《フエローシップング委員会の働き》

文 ・ 福田
カメラ ・ 高橋 実 真

か 樹 け 橋 と な つ て 働 く 者

—— 東京北支部の活動から ——

● 私の 体 験



ブルーの表紙の「フエローシップングの手引」を読んでいた時私はこんな光景を思い出しました。私が教会員になってから半年程たったある日曜日、私はクラスメートのY君を教会に誘ったのです。Y君は約束の通りに、午前十時半より一寸前に、教会にやってきました。私は彼を迎え入れると共に、二、三の兄弟姉妹に彼を紹介して、あわただしく日曜学校の祈り会に出席しました。私はその頃日曜学校の会長をしておりまして、その日は丁度私が司会をする日だったのです。祈り会の後日曜学校が始まるまで、私はY君のことをすっかり忘れていました。司会をしながら、私はY君が後方の席に、ポツンと独りで座っている姿を見て、ほっとしました。日曜学校が終ってから、責任に追われてあっちこっち、飛びまわってや々と一段落したところで、Y君の姿を捜しました。しかしもう彼の姿を



「おはようございます」

教会の第一印象を与える大切な所だ

● 明るい笑顔に 迎えられて

私はこの二つの思い出にある苦い経験が、フェローシップング活動によって、

充分に償なわれると感じた

見つけることはできませんでした。
翌日学校で私はY君に教会の印象について尋ねますと、彼は「つまらなかった」と一言もらしました。私は今でも、その時の下をむいてつぶやいた彼の横顔を思い出すのです。

また一昨年、私が地方の或る支部に在席していた時、その支部で前年（一九六一年）にバプテスマを受けた会員が六十名近くいながら、聖餐会に出席するのは三、四十名と云う現象を不思議な気持ちで眺めていました。前年に六十名近くバプテスマを受けたことは、それ以前の教会員数と合せて相当数の会員がいる筈だからです。そして、これではまるで宣教師の努力は水の泡で、彼等の働きや捧げられた犠牲性に対して申し訳ない、いたたまれない気持ちになった、あの日の頃を思い起します。

のです。私は寒い冬の日のある安息日の朝、期待とある種の不安を抱きながら、東京北支部の白亜の教会堂へと向った。アルミ枠でできている近代的な玄関のガラスの扉を通して、受付の台と二人の姉妹がにこやかに立っているのが見えた。玄関の扉を押して入ると「おはようございます」と云う爽やかな挨拶と共に私に向けられた二本の白い握手の手に会う。受付の台の上には3cm四方位のプラスティックで出来ている名札が置いてあり、常連？の名前が記入されてあった。私はそこで名前を書いて貰うと自分の胸にそれをつけた。何か一寸おもしろい気持ちである。次々とやってくる求道者や会員たちも挨拶の後には、この名札をつけて貰っていた。しかし中には「恐らく始めて教会に出席した人であるがーどうしてこんなものをつけるのかなあと、いぶかしげにしていた人もいるようである。（こ

の名札は出席人数が多い北支部では求道者のもとより、会員であってもお互いに名前を知らない人がでてきたので、よく知り合う為に作られたものです。）

● 神権会を終えて

まっ先に活動を開始する

十時五分過ぎ私は一番教室に行く。そこには既に兄弟が二人、姉妹が三人とフェローシップング委員会のメンバーが顔を揃えていた。北支部の若手ホープ・ノッポのY兄弟がフェローシップング委員長である。彼は入ってくるなり、開会を宣言し、打ち合せ会に入った。「今日のフェローシップングスクールは、三時からこの一、三番教室で行います。

バプテスマは聖餐会終了後開かれますが、今日バプテスマを受ける兄弟をO兄弟がお世話をするようにして下さいませんか。またフェローシップング委員会の打ち合せを午前十時五分から行いますから、毎日曜日この時間にこの教会に集って下さい。それから今日の各委員の責任分担を発表します。H、O兄弟は独りでいる兄弟や男性の求道者に他の兄弟たちが話かけるように、その隣りに座るようにお世話して下さい。N、O姉妹は同じように



「吉岡兄弟ですね、どうぞ名札を」

一人一人の名前を全部の人が知るように

女性の方をお世話願います。」祈りが終る。さあ出勤である。頬を赤々とふくらませて張り切り委員たちは所定の目標に向って進んで行く。(北支部のフェローシップ委員もご多分にもれず。毎週出席する新しい求道者や、新しい会員に対して、その絶対数において少ないのです。為に一人の人が数人の求道者や会員の世話をするようになっていきます。)

途中から遅れて人ってきた監督長老と委員のO姉妹が、一生懸命、今週の家庭集会についてうち合せをしている。バプテスマ準備中の何人かの求道者の為に、証人として、またこの時から会員と親しくなるように、お世話をしてもらう幾人かの人を選び、求道者の家庭集会に出席するのである。(これは毎週監督長老とその係りのフェローシップング委員とによって計画されています。) 日曜学校の分級の際には、フェローシップング委員は卒先して、求道者を初めての人の紹介のクラスへも導く。クラスの中では、非専任宣教師が新しく来られた方々の面倒をみるのに一生懸命である。日曜学校終了後、フェローシップング委員は総出で、玄関で歓送の挨拶をする「また来週ね。」今週の××曜日お会いしましょう。」そこでは楽しい挨拶がなごやかに交わされていた。始めてきた人の中でも、幾人かの人は聖餐会に出席する。ここでも活躍する場面が展開する。日曜学校が終了し聖餐会の始まる僅の間に、新しい求道者や会員を他の兄弟、姉妹(既に兄弟・姉妹として連帯感を持ち独り立ちしている会員)に紹介し、彼等も新しい求道者や会員を導く機会を持つよう、働きかけるのである。短い時間にあま

り多くの事は、期待できない。しかし、僅かであっても、植えつけられた小さな種は次第にその芽を大きくするに違いない。聖餐会終了後、バプテスマがある。バプテスマを受ける兄弟・姉妹を更衣室に導き、あれこれと世話をするのもフェローシップング委員達である。

●フェローシップングスクール が開かれた

やがて午後三時、フェローシップングスクールの始まる時刻である。一、三番教室には椅子が黒板に向って半円に並べられてあり、ゾクゾクと生徒が集ってくる。バプテスマを受けて間もない老若男女がその対象として開かれるのである。(フェローシップングの手引にはバプテスマを受けてから六ヶ月に満たない人を対象とする事になっています。)もちろん、熱心な求道者も参加することができ。司会者のF姉妹が立って開会され、開会行事に続いて紹介のプログラムに入った。各自が左右の人と短い会話を交わした後、自分の右隣りの人を紹介するのである。ユーモラスなことにかけては、他に類をみない? ユーモリストの多勢いる北支部では、この紹介



「〇兄弟、家庭集会に証人として出席して下さりませんか」

プログラムで雰囲気はグット家庭的な和やかなものになった。今日の講師はK兄弟である。彼等はプリントや図表を準備し、「教会の組織」について、わかりやすく説明していた（そうそうその前に参加者全員はノートを準備し、筆記用具も揃えて熱心に筆記している姿も大分見受けましたよ）。レッスンの後三十分位出されたお菓子を喰べながら、今日の講師へ向って色々の質問がだされる。これらの質問の幾つかは極めて有意義な質問であったフエローシップンスクールの後、参加した数人に次のような質問をした。

ますか。

(Ⅲ) 現在のフエローシップングスクールにどんな事を望みますか。

これ等の質問へのお答えをご披露しよう。
吉田澄子（昨年の十一月頃受履）

(Ⅰ) 浅いけれど広い知識を得られた。出席しなければ他では得られなかったと思う。
(Ⅱ) 価値がある。勉強する良い機会だと思ふ。

(Ⅲ) 広い範囲にわたるよりも、系統だって詳しく教えて欲しい。

井上正年（昨年二月受履）

(Ⅰ) 教義の基礎、教会のありさまを知ることができた。語り合う友を得られた。

(Ⅱ) 価値あり。

(Ⅲ) 他の集会のない日に、ゆっくりとやって欲しい。教義的に難しくとも良いから、愉しくあるより霊的雰囲気を強めて欲しい。

谷川秀雄（中学三年生、昨年八月受履）

(Ⅰ) MIAや日曜学校で知り得なかったことを学ぶことができた。

(Ⅱ) 価値大いにあり、他のレッスンよりズウット良い。

(Ⅲ) 雰囲気も充分で学ばせてくれるから嬉しう。

○ずうっと続けて欲しい。

この他に(Ⅲ)の何を望むかについては「個人的問題の解決―身の上相談的なもの―」の機会が欲しい、もっと質疑応答の時間が欲しいなどがあった。次に北支部のフエローシップングスクールの責任者であるF姉妹に尋ねてみた。

フエローシップングスクールは、新しい会員にどんな点で役に立っていると思いますか？。

彼等（出席する会員）に自分達の場、時



「おげんきで又どうぞ来週もおいでください」

間。と云うものが教会にあるのだと云う安心感を与えていますし、新人同志のつながりから孤独感とヒガミがなくなります。又他では得られない教会の知識を身につけることができます。

フェローシップングスクールにはどんな問題がありますか？

—望まわっている教室は教会を離れ、会員の家をお借りするのが良いのですが。……これには、家が教会より遠いとか（交通費の問題もある）室が狭いとか（住宅難）こうした集りを理解して貰うことが難しいなどで、勢い教会堂を使用するようになるのでこの点が現在の問題の一つだとも云えます。またフェローシップングがこのスクールにだけ終ってしまつて、結局フェローシップングがおぎなりのものになってしまうのではないか……と云う

疑問も、もたれます。

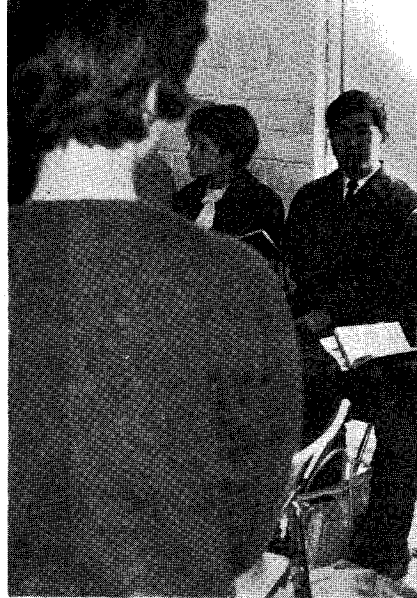
さて、フェローシップングスクールについての一般的印象は先程のアンケートでも判るように中々好評のようである。この中で特に注目するのは、教課の内容が他の補助組織の教課と違つたためでもあろうが、学ぶことの楽しさを与えている、と云う感じが強いことである。これは教授法にも大いに関係があることとなるので、今後共、教授法には色々の工夫をなされることが望まれるのである。（特に視聴覚教材を有効に使用する事によつて、もっと効果を高めることができる）集会、場所、時刻については参加する会員の事情をよく把握し、一部の人達の希望や考えではなく、全員の利益を考え、支部の事情も考慮して、適切な所、時間を決めるべきであらう。会員の自宅を利用する場合には、特にその家の方々

に迷惑をかけないように配慮することが必要である。またこの場合は、貸して載く先方の御両親にも、前もつてお会いし、打ち合せをしておくべきではないだろうか。フェローシップングスクールについて検討すべき問題はまだまだあるが、紙面の都合もあるので、この辺で先に進もう。

● 一日の活動は終つたが

午後三時四十分フェローシップングスクールが終つてから、フェローシップング委員会が二番教室で開かれた。議題の中心は、フェローシップング委員が求道者と会員のかけ橋となる、最初の布石を置く家庭集会に出席する場所の連絡や、報告の出し方についてであつた。フェローシップング委員の活気に満ちた討論は新しい使命への意欲ある心情のほとばしりであると感じさせられた。

委員会が終つてしまつたのに、まだ部屋に残つてなにか仕事をしていた委員たちがいた。もうすっかり暗くなつた外の気配に氣ず



フェローシップングスクール

●取材を終って

このフェローシップング活動を
紹介するに当って直面した問題
は、紹介しようとしているフェロ
ーシップング活動そのもの

が、現在のどの支部に於
ても完全な形で活動がな
されていまいということ
である。生れたばかりの
プログラムであってみれば
当然のことかも知れない。しか
しあえてこのまだ不完全な姿のフェロ
ーシップング活動を取材するに
した。

かしながら彼らは何をしているのだろうか。
のぞいてみよう。彼らはバプテスマがあるた
びに、求道者が増えるたびに集まってくるた
くさんの記録や資料の整理をし、それをもと
に、フェローシップする人たちを紹介する会
員たちを決めていた。

こうして安息日の一日フェローシップング
活動は幕を降した。日曜日からはじまる一週
間の中で、開かれる数多くの家庭集会の中で
帰りの道すがらバスの中で、しばらく来な
い会員や求道者に手紙を書く時、フェローシ
ッピング委員たちは、証詞をのべ励ましの言
葉を与え、友愛の情を示し、兄弟としての結
びつきを強めるために努力するであろう。

フェローシップングは、求道者を
バプテスマに導き、バプテスマを受
けた兄弟姉妹たちを、兄弟姉妹の連
帯感を強めた会員に導く掛け橋とな
るのである。この掛け橋は非常に重
要でありながら、幾多の問題を持っ
ているのではないだろうか、この掛
け橋を永久的かつ強固な橋にするた
めに、今この問題点を探ぐってみる
のも大切なのではなからうか。と考

えてこの取材を進めたのであった。

「〇〇兄弟このごろ教会に来てないけど
どうしたのだろう」



「フェローシップングのために」

巡回宣教師

新山

靖雄

「それ故に、我汝に一つの誠命を与う。汝ら、組織を作りてすべての人をその管理の職に任ずべし。これわが智慧なり」主はこのように仰せになっております。「ではなぜ組織するのでしようか」私たちが主の御業を成し遂げるにあたり、その重大な仕事と責任を分担することに、もっと円滑にうまぐ、また容易に主の御業をなす

と驚異を目のあたりにすることでしょう。私はそれを信じ心から望んでいるのです。図を御覧下さい。この図はこれからの各支部発展の道を示すものです。現在各支部に三つのプログラムが必要である事を痛感しております。一、ホームテイチングプログラムの三つです。これらがどんな働きをするかを少し書きましよう。

為に組織するのであります。また私たちが喜んで責任と任務を受け入れ、それを充分に果すことにより主の御業の推進の助けとなると同時に良き指導者を生み出し、私たち自身良き指導者になるために組織します。日本に神の王国を実現させる働きは今私たち一人一人にかかっています。各支部及び地方部の組織が充実し発展して「ワード部」、「ステーキ部」となった時にこの日本の地に神の王国が実現

一、フェローシップングプログラム 紹介制度によって多くの友達か、求道者として教会について学びますが彼らがバプテスマを受け神の国への第一歩を踏む事が出来る様助けける事がフェローシップングプログラムの第一の鍵でありこれから課題でもあります。

うまでもありません。「人類に真の救いをもたらす組織が主の教会以外にあるでしようか」組織を学べば学ばど主の計画のすばらしさに驚き、この末の日に回復された主の教会に対する私の証詞は強められるのです。日本における私たちの教会は非常な発展を示しております。本当に数々の奇蹟がもたらされているのをはつきり理解できるのであります。敗戦後の日本に再び、回復された真の福音が述べ伝えられた当時の兄弟姉妹の内何人が現在の発展した状態を想像し得たでしようか？「われは神なり、わが腕は屈かぬことなし。されば、すべてわが名を信ずる者には奇蹟と徴と驚異とを示さん。」(教義と聖約三十五章八節) まさに主の腕は日本の地にもとどいております。これからも私達の信仰により数々の「奇蹟」と「徴」

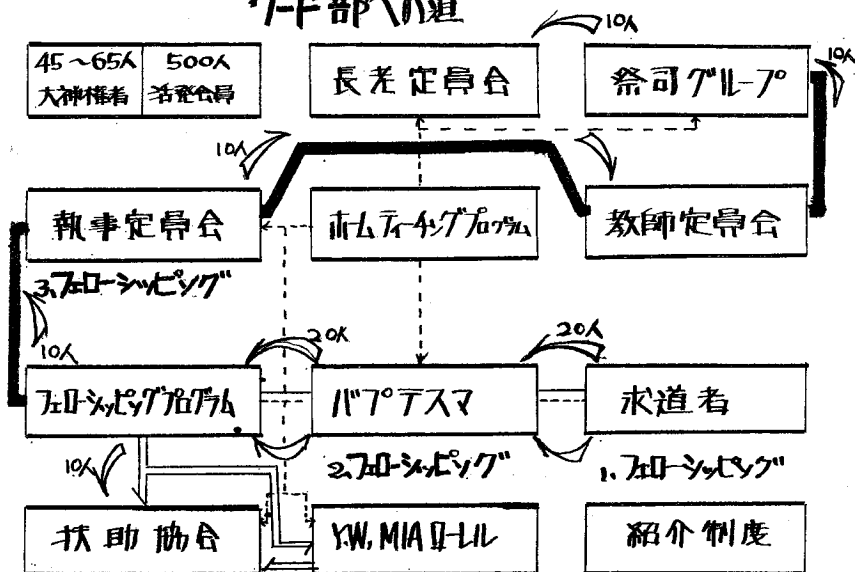
第二の鍵はバプテスマを受けてから、新しい会員が引続き強い信仰を保つ事が出来る様に助けを与えねばなりません。

第三の鍵はフェローシップングプログラムの働きを通して、もっと彼らが信仰を強くする様助けを与えねばなりません。しかし信仰とは行いが伴はなければなりません。そこでバプテスマを受けた当時の信仰をさらに強いものにするには、やはり活動を与える必要があります。「活動なしでは人は信仰を強める事はできません」新しい兄弟の場合、早くアロン神権のプログラムの中で活動できる様に、またその為に早く執事になる様援助することは大切です。

姉妹の場合早くYW M I A あるいは扶助協会などに早く彼らを紹介してそこで活動を通じモルモンのな生活方法をより一層深く学ぶ様に手を差し伸べる事は非常に大切であります。以上の三つの鍵がフェローシップングプログラムの課題であります。以上の責任は支部にあるフェローシップング委員会を中心として、すべての会員が行なわなければなりません。「フェローシップングとは、フェローシップング委員会を指しているではありません。」フェローシッ

ピング・とは、特に主と聖約を結び心を新たにしている新しい改宗者を私達の兄弟姉妹として迎え教会員の家族の一員とすることであり、また彼らの将来、および永遠の歩むべき道を示し、その課程を教え、心から兄弟姉妹としての愛を示し、彼らが永遠の生命を得る為の目標に沿う様手をとって導びいて上げる事です。十二使徒評議員会々員であるマーク・E・ピーターセン長老のおっしゃった通り「フェローシップピングは救いである」事を証しいします。この事がいかに重大であり、この責任は私達一人一人にある事を、心の中に深く覚えるのであります。私達一人一人が御霊の導きにより、新しい会員を導びいてあげる事、心から自分の同胞として迎えることは、いかに大切な事ではないでしょうか。またすばらしい事ではないでしょうか。これらはフェローシップピング委員会だけの責任ではないでしょうか。私は、フェローシップピングは彼らだけの責任ではなく、私達一人一人にある事を申し上げたいと思います。以上述べた事を実行する人は、モルモンであり、彼自身進歩するに違いないと信じております。具体的に私達はなにができ、どんな助けができるか。は「フェローシップピングの手本」から学ぶ事ができます。「昨年の改宗者の多くが教会に來なくなりました」また「聖さん式に出席した人数が昨年だけの改宗者数とあまりかわらない」「聖さん式の出席が依然一年前あるいはそれ以前と同じと言う状態だ」兄弟姉妹の皆さんこれらについて、どう思われますか？この状態が続くかぎり支部の急速な発展は到底望めないのでないでしょうか？私達一人一人がフェローシップピングの精神を理解し、それを実行し、それらの問題を解決する様働こうではありませんか。そして教会と言う私達の家庭を堅固な物にしようではありませんか。

7-ド部への道



子供の日曜学校ガイド

五月用

顔で横になっています。

どうでしょう！
やっと明子さんに見
つけられ、ホットした
顔でピカピカ光ってい
る、十円玉が三枚、引

出の中から出て来たのです。

明子さんは、思わず

「ワァ三十円も、……どうして、ここにあるのかしら？」

三十円を手のひらにのせて「エート、エート」しばらく考えてみますと、

「アッ そうだッ この前、大阪の叔母さんがいらしゃった時にくださったのかわ、スツカリ忘れてしまつて、ここに入れたままにしておいたのネ」

明子さんは、まったく思いがけない出来事にとても、とても、うれしくて、ポイント高くほおつてみたり、三十円を中に、手合せて振つてみたり、それは、もう、うれしくて、どうしようもありません。

コロコロコロ、コロコロコロ、机の上を、ころがってゆく十円玉、テールカレンダーにぶつかつて、可愛い音をたてて倒れてしまいました。

カレンダーは本日は五月九日ですとスマシ

カレンダーに、赤マークがポツン、ポツンポツンと表われて、何となく郊外へと手まねきをしているみたい……そんな気持ちがする五月……子供達と青空の下で、おもしろい手足をのばしてみては如何？

支部の皆さまの御協力を願つて、合同でグリーンの大広間で広くパーティを催しても結構、とにかく、子供の日があるから、仕方がない子供にサーヴィスしようではなく、このさわやかな五月の一日を心から子供達にサーヴィスする日をつくつてくださるよう、お願いいたします。そうすることによって、我々の次の世代を負う彼等を改めて知ることが出来るというものです。

物語

母の日のプレゼント

それは母の日を明日に控えた、午後の一時のことです。明子さんは自分の机の引出を、きちんと整理していますと、

顔で横になっています。
明子さんは、それに気がつくとも手早く机を整理して、「お母さん！ お花屋さんに行つてまいります」とお知らせしてから表に出ました。やわらかい光をはなつていた太陽もどことなく傾いてきたような時間に、明子さんは、お花屋さんのショウウィンドーに顔をつけるようにして、お花をみています。それはそれは、美しいお花が、えのぐをひろげたように、かざつてあります。その中でも特に明子さんの目にとまつたのは真赤の優しそうなカーネーションです。明子さんは、フートー回深呼吸して、ガラスの大きなドアを押し中に入りました。店員さんに「この赤いカーネーションは、いくらですか」とたづねますと「ハイ、ハイ、これですネ、これは、とてもいいお花ですよ、明日は母の日ですからネ、特別、お勉強して、三十五円ノ何本ですか？ お嬢さん？」
「三十五円？……ソウノ、ジャいいわ」
明子さんは、思わずポケットの三十円を握りしめました。明子さんは日曜学校で先生や、お友達と一緒に、カーネーションのカードをつくつた事を思い出しました。そのカードとあのきれいなカーネーションを「お母さんあ

りがとう」と、お母さんにプレゼントするところができたら良かったのに、三十五円ではどうしようもないわ……

明子さんは小さな頭の中で、三十円で買えるお母さんの大好きな物は何かしら……

だんだん太陽の姿がくれそうになった夕暮の街を歩いていきますと、いつのまにかマーケットの前にきていました。

買物かごを下げたお母さんたちが、忙がしそうにあちちに立止ったり、こっちに立止ったり、こは、いつでも賑やかな所で大勢の人が集っています。

どうしようか？ 入ってみようかな？ と迷っている明子さんの耳に、オロオロした声が聞えてきました。

「たしかに、ここに入れておいたのヨ このカゴの中に、どこで落してしまったのかしら困ったわ、本当に」。

「可愛想に、お金をおとししまったのかしら、あのおばさん、お気の毒に」

明子さんはガヤガヤ騒いでいる声を背にしなから、お母さんにあげるプレゼント、何にしようかしらと、考え、考え歩いていきます。あれほど賑やかな所と違って、静かな公園の側まで来てしまいました。ふと気がつく、

あたりは外燈もつきはじめ、薄暗くなってきたようです。

「ウワ！ おそくなってしまったワ、キットお母さんが心配している、早く帰らなくてはいけないワ」

明子さんは、とっさに走り出しました。……と、何かにつまづいてトットツ……前にのめりそうになりました。

「アッあぶなかつた、もうすこしでころんでしまふところだったワ」

つまづいたあたりに、二・三步もどつてみると緑色のお財布が外燈に照らされて落ちているではありませんか、

「アラ、お財布、誰のかしら？」

パチントを開けてみると、十円玉やら百円玉、それにお札まであります。明子さんは、もうビックリ……パチントお財布をしめて両手でかかえてしまいました。明子さんの頭の中で、美しい赤いカーネーション、お母さんの大好きなチョコレート・ボックスそしてお母さんの笑顔がグルグルまわっています。「これだけ、お金があったら、きつと素晴らしいプレゼントが買えるわ……」

「困ったワ、たしかにここに入れておいたの

に、困ったノ……」の声が聞えてきました。明子さんは今来た道を、夢中で走って交番のお巡りさんに、この財布をとどけましたあたりは、増々、暗くなって、帰りの道も明子さんは、ドンドン走りました、走りながら明子さんは、明日の母の日には、私の作ったカードをお母さんにプレゼントして、それからお手伝いをたくさんしてあげようと決めました。

「お母さんノ ただいま、おそくなってごめんなさい」。

「明子さん、おかえりなさい。明子さん、お母さんはとてもうれしいわ、明子さんは、本当に良いことをしてくれたのですものネ」

明子さんに、何をそんなにお母さんが喜んでいらつしやるのわかりません。キョトンとした顔をしていますと

「さっき、〇〇さんのお母さんから、お電話があったのよ、明子さんが、おばさんのお財布をひろってくれて、ほんとうに助かったとお礼を云ってらしたの」

それで、やっと明子さんはわかりました。そうかノ おばさんに財布がもう届いたのネ良かった。

「お母さん、ほんとうはネ……」と

明子さんが考えてた事を全部お話してしまいました。お母さんは

「明子さん、そうだったの、よくお話してくれたわ。お母さんは世界中で一番、幸せなお母さんですよ、明子さんのような正しい子供をもって、お母さんは、他のどんなプレゼントをいただくよりも、こんなにうれしいことはありませんヨ」

明子さんは、心からお母さんに日曜学校で作ったカードに、短い言葉を書いて送りました。

私の一番、好きな人

それは

お母さん、お母さん

いつでも、私を愛してくれる人

それは

お母さん、お母さん

お母さん、どうぞ

いつまでも、きれいで 元気で

私を守ってください

お母さん、ほんとに

ありがとう、ありがとう

— E N D —

子供の日曜学校

練習の歌 四五

「春」が今月の歌の題です。春の歌らしく生き生きと歌いたしましょう。まず、スケルツォと表情記号が出て居ります。これは「すこしおどけて」という意味があります。

2/4 拍子の少しテンポの速い曲に感じられますね。一段目の一小節は八分音符で成って居ります。では二小節目はどうでしょうか、十六分音符が四つ続いて居ります。それから

八分音符になって居りますがこのリズムに気を付けて下さい。初め八分音符を速目の一拍に数えますと十六分音符が出てきても、割合に簡単にリズムがとれると思います。三小節目の附点八分音符の形は正確にして下さい。

三段目の三小節の八分音符と八分休符の形の所もよく数えて下さい。この八分休符を大切に教えて下さい。この所を休符を入れないで唱いますと大変重たい感じの曲になってしまいますね。四段目の三小節に初めて四分音符二つで成っている小節ですね。これは四分音符十分に延ばして指導して下さい。この音符の上についている>の記号は皆様よく御存知と思いますが、アクセントです。最後の小節

は二分音符で終って居ります。十分に正確に数えて下さい。もう一度始めにもどります。

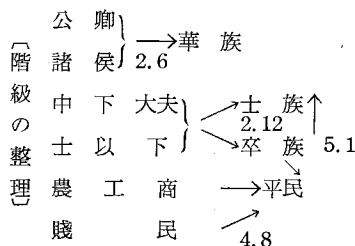
「のはら」の所には・がついてますね、スタッカートです。軽く切って唱います。「こえてくるよ」の所は十六分音符の所に一つづつ言葉がついて居りますが、前述の様に大切に数えながら唱います。そして「よ」がその小節で一番高い音になっています。子供達はこのような場所で強い声を出す事がありますから注意して下さい。この所は弱拍ですから。ブレスは二小節目の区切り目でしましょう。

六月の練習の歌十六番



日本史〔明治時代〕

身分制度の変革（封建遺制の廃止の一部）



- 平民に苗字を許す 3.9
- 華士族平民間の結婚許可 4
- 裁判に尊卑の差を廃止す 5
- 華士族平民間の養子縁組許可 6
- 仇討禁止 6.2
- 帯刀禁止 9.3

〔注〕 数字は明治の年月

委員の手引

親愛なる系図委員の皆さんお元気でお働きの事と思います。系図委員として私達は常に会員一人々に系図に対する新鮮な認識、すなわち PR を絶え間なく与えていかなければなりません。フレッシュな PR の幾つかをここに掲げてみました。

壁新聞（それに類するもの）シートの販売スペシャル・ナイト、系図の成績表（其の他のグラフ）ホーム・ティーチング回数表。個人ティーチング。面接。話。クラスの活動（日曜学校 D クラス M I A 系図のクラス）其の他いろいろ。

今日、ここでお話について少しのことを具体的に考えてみましょう。系図はそれ自体地味ですが、聖餐会や日曜学校の話の機会を通して、次のようなことが誰かによって話されているのでしょうか。もし話されていないとしたらよいでしょうか。

神殿とは何か。神殿の儀式について。

死者のパプテスマ。エライジャの訪問

アブラハムの祝福。系図について（沢山に分けられる）

記念の書。救いの条件。

其の他、挙げればいくらかもあると思います。どうか委員の皆さん、今こそ私達が奮い立って私達の先祖の為に働きましょう。深く折り、相談し合えば各支部にそれぞれふさわしい方法をみいだすでしょう。



系図の道しるべ



先祖数の計算

「これこそ、ついに私の骨の骨、
私の肉の肉、
男から取ったものだから
これを女と名づけよう」

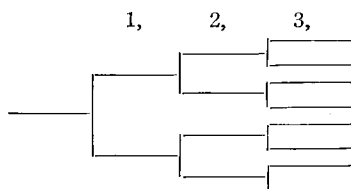
それで人は父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。（創世記）

子は夫と妻によって生じるので先祖数の世代を計算するには2のn乗（先祖世代数）しますと先祖数の世代が出ます。先祖数の世代を合計しますと先祖数が出ます。もちろん先祖をさかのぼるにしたがって共通した同一人に重複することが多くなると思います。

一世代を20年として計算すると

2 世代では.....	4 人
3	8
4	16
5	32
10	1,024
15	32,768
20	1,048,576
25	33,554
27	134,217,728

合 計 268,435,454
(約2億7千万)



1 世代を20年として27代さかのぼると約1億
3千4百万人となり年代を計算すると

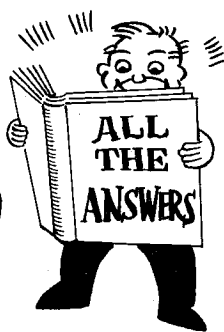
$$20年 \times 27 = 540 年$$

今年は 1964 年
- 540

1414年頃(室町時代)になります。

私達はここで、日本民族はごく限られた共通の先祖に達することを学ぶことができます。さらにさかのぼり建国に至るならば神の恵みを考えられずにはいられません。歴史の深きこの大和の国の偉大な先祖達を持つ私達に何んと幸せなことでありましょうか。

MIA Leader



「MIA全国大会」

開催のお知らせ

親愛なる兄弟、姉妹、お友達の方皆さん、こんにちは。昨夏のMIA大会「若人の集い」の経験に基づいて、好評だった点、不評だった処を再度、検討し、大体、次の要領で大会を開くことに決定しましたので、皆さま方の御協力をお願い致します。

あなたのMIA（大会チーム）

8月6日（午後6時30分～9時）於 西支部

開会式と歓迎会

8月7日（午後4時～8時）於 体育館

卓球

フóークダンス } コンテスト

8月8日 スピーチコンテスト

（午前9時～11時30分）於 西支部

※演劇（午後6時30分～8時）

※於 公会堂

（注※印は二月末日現在、未確定のもの）
このプログラムが発表される頃には殆んどが決定されているでしょう。

設定チーム「あなたのMIA」のように、皆さまがたゆまず出席されているMIAの活

動の輝かしい成果を競い合うことを目標としています。そして、そこから生まれる強い証詞が再び皆さまの心の糧、支えとなるように期待しています。

大会二日目の日中は一応、空白にしてありますが、皆さま方の御希望により埋めることが可能です。（京浜地区実行委の提案としては希望コース別の東京見学）

同じく三日目の午後目下、企画中です。詳細は各地方部、支部に連絡致します。

大会に出席される地方からの兄弟、姉妹の皆さんは今からその費用を貯めておいて下さい。宿泊所は教会堂を使い、交通費も最小限に食いとめるよう努力致します。悔いのないよう良い大会にしたいと思致します。決定したものはその都度お知らせ致します。

次にコンテストとして「卓球」「フóークダンス」「スピーチ」を選びましたが、これ等も地方部の役員、支部の役員を通し「課題チーム」「自由チーム」を設定し、地区、或いは地方部内で予選を行い、準決勝、決勝を晴れの大会で行うようにします。

伝道部Y M M I A 管理会長

佐藤 襄二

MIAが組織されるまで

最近MIAに集っている若い人達の中に、MIAの標準や、MIAの組織のことを良く知っているが、MIAの歴史的背景についてあまり知っていない人が多いようです。今日は、そのことを書いてみたいと思います。過去に出版されたMIAの文献や、教会歴史等を参考にしながら、私達のMIAと言うものを、もう一度見なおしてみしましょう。

イエスの福音が回復された時代の早くから当教会の青年男女が宗教的にも文化的にも、成長を遂げるために、いろいろの集りが現れていた。一八四三年一月、即ち当教会が回復された一八三〇年四月より、およそ三年後にすでに、ヒーパー・C・キンボール兄弟の指導で「紳士淑女協会」と言う名で組織されたものが、現在のMIAの母体となりました。この会の目的は教会の青年男女が回復された福音を形成している真理と正義の原則を実践したいという願いを若人の心に起させることでした。「紳士淑女の扶助協会」と言う言葉が出てまいりましたので、参考迄に「扶助協会」の起源を考えますと一八四二年三月、大

体一年前であることがわかります。この様なことを思いあわせると、なんとなく名称のことも、うなづけてくる様な気がします。ちなみに、此の時代の教会歴史を読んでみますと一八四三年は、ノーヴウに於ける聖徒達への迫害の中でジョセフ・スミスは、ノーヴウ市長に選挙されました。そして、イギリスの多くの移住民がノーヴウにやってきました。少しの期間の平穏な時期の後に一八四四年の迫害の年を向え、六月二十七日、カーセージの獄屋にて殉教したことは、此の教会の誰れもが知るところです。

一八四三年二月、この組織（「紳士淑女の扶助協会」）の集りが表面の成功を収めた後、予言者ジョセフ・スミスはそのグループと会見し、キンボール兄弟の彼の立派な働きを讃める言葉を贈った。予言者はこの組織に祝福を与えてから、この集会が続けて行われるように励まして、「青年男女はキンボール兄弟が与える助言に従ってもらいたいという希望を述べた。この出来事に関する解説の中で、「教会歴史」は次のような註釈を施しています。すなわち「上記の議事録を読むと、それから扶助協会よりもむしろ一層明らかにMIAのことを記述している。而してこの出来事

は、イスラエルの青年たちが彼らの父祖に劣らぬ信仰を保持するために非常に強力な援助となっている当教会の偉大な運動に向っての第一歩であると考えるのは適当であろう」

（教会歴史 第五卷 三二〇頁―三二二頁）

その後、聖徒達への迫害が強まり、西方への移住に従って、この組織を維持をして行くことが不可能になって来ました。やがて、主よりの約束地に根をおろした当教会に、ステーク部が組織される頃には、ソルトレーク盆地の青年達の間に種々な組織が現われはじめました。当時「哲学協会」の後援者であったロレンゾ・スノーを含む教会指導者達の数人によって、それらの組織は後援されました。これら青年達の協会はすべて教会のワード部やステーク部内にあって、青年達が当時教えられていた、いろいろの原則や教義を彼らが日常生活の中で実践する助けとなるように、運営されていきました。

当時、ブリガム・ヤング大管長は、これらの組織は個々としては結構であるが、集合的には、教会の青年の間に長期に亘る建設的な働きをするに必要な統一を欠いていると痛切に感じていました。そこで一八六九年十一月二十八日ブリガム・ヤング大管長は教会内の

若い婦人達を正式に組織して、次の様に言われました。「当教会の若い婦人達が、教会の年とった会員、すなわち自分達の父母達を助けて私がこれまで永い間教えてきた、いろいろの原則をひろく宣べ伝え実践をするよう、シオンの若い婦人たちを組織して一つの協会をつくることは、私がこれまで長い関心に待っていたことであつた。イスラエルの若い娘たちが今や真理の生きた証詞を得ることは必要である」と。「MIA」と言う名は、この時より使われる様になりました。

一八七五年六月十日同じくソルトレークにてブリガム・ヤング大管長は青年男子に向つて「私は君たちが相互の発達をするために組織して協会をつくるよう望む。君たちの働きの基調は、末日に於ける偉大な事業がまことに真理であり重要であるという個人的証詞を青年のうちに確立することではなければならぬ。また神の僕への按手によって君たちに与えられた内部にある賜物を発達させることであり、知識の陶冶と、人生という大きな科学の中にある永遠の諸原則を応用することではなければならぬ」と述べ女子と同じように組織して一つの協会をつくらせました。

「ヤング大管長の下に相互発達協会が組織

された当時、この協会の組織を促催した目的は、福音の諸教義が真理であること、ジョセフ・スミスの使命が神聖なものであることの証詞を得ることであり、又青年たちの文学的趣味を発達せしめ、その社交活動が、いっそう良好な管理と支配の下に置かれるように、青年男女に更に、いっそう効果的に福音の諸教義を教えることが出来る手段方法を与えることであると言うことはあきらかに了解されていたのである」とも書かれています。

一九二三年に出された指示によれば、「若き青年男女の相互発達協会の管理総局は教会内のすべてのレクリエーションを管理する役に任命された。我々は我々の余暇の計画、及び、教会の補助組織のレクリエーション活動に対するより適切な計画を作ること、相互発達協会、プライマリーは組織内で友情を育成するのを目的として、組織されるレクリエーション活動や社会的活動を除き他のすべての此類なき最高の活動を意味しているのである」ということを勧告したい」と思うとあります。

これらの数々の言葉は、今日、MIAの会員である我々一人一人が理解して味わってみるべき言葉です。主より伝えられたる言葉

「神の栄光は英智なり」と言うテーマを持ち若さと成長と発達とを示す緑と、強さと誠実さと能力とを示す金の色とを我々の色として選び、地上に神の国を樹立するために力を尽す青年男女の組織、それが貴方のMIAなのです。

今日もし貴方がMIAの指導者としての責任を持っているなら、過去に於ける数多くの責任は貴方の雙肩にかかっているのです。

先祖から伝えられたこの神聖な財産を私達はふやして行かなければなりません。

伝道部 YW MIA 会長 佐藤栄子記
質問にお答えします

問 MIAの活動の中に英語の活動を計画しておりますがその活動がMIAの活動として適当か否か御教示願いたく……(原文のまま)

答 東京西支部からの質問ですが、MIAの正規の活動の中に英語(特に会話)を加えることは、クラスへの出席者がMIAの会員のみに限定されたとしても好ましくありません。伝道部の方針としては、若しMIAの中に強いて英語を加えたいとするならば、スピーチのクラスにしか設けられず、それも単に英会話と云うのではなく、外国

語の作品(劇など)を研究すると云う、スピーチのクラス本来の方針と目標に沿って採用するならば差し支えありませんが、単に興味本位とか、学生達の勉強の一助になつたりするのは厳禁です。期間もあまり長期に亘らず、一作品或いは一シリーズ物を消化したら、方向転換をした方が望ましい。宜教師の参加は必要以外は避けて頂き度いと思います。

MIA書記の皆様へ

今月の注意事項

早く実行していただきたい事。

- (1) レポートの提出日(毎月七日迄)守る事
- (2) YWの氏名、住所、生年月日を提出の事

○記録簿をみて下さい。

- (1) 折会(MIAの始まる三十分前に開く)

はいつもなされておりますか。

- (2) 定刻に始まりますか。

- (3) 福音のクラス・活動のクラスの始まり終りはスムーズに運ばれておりますか(レッスンが長くならないよう書記の方は上手に時間の来た事を知らせる)

- (4) 九時には皆帰りますか。

貴方の記録簿がより正確なものととなりま
すよう会長の皆さんと常に連絡をとつ

て下さい。

○記録簿の必用な方は記録簿の代金百円を添えて少の余裕をみて註問して下さい。

○MIA献金がありましたら送って下さい。

日曜学校練習の歌 七番

今月の練習の歌は容易に覚えらるる曲です。二回位練習しましたら日曜学校が聖餐式によく歌う曲の中で不注意に歌っているところを指摘して指導して下さい。

ではまず「七番」を研究してみましょ

う。へ長調 $\frac{4}{4}$ 拍子、 $\text{♩} = 104$ の曲ですね。速めの曲ですけれど走りすぎない様に。一段目の三拍目と二小節の一拍目の音は同じ音ですね。この様な所は、なんとなく音が上つたり下つたり歌う人がありますから指導者の方はそこを強調して歌って下さると良いと思います。プレスは四小節目の二拍と三拍の間にして下さい。二段目は三小節目でプレス、三段目は二小節の二拍目、三拍目の間でプレス、残りは四小節単位にプレスして下さい。右ページでは二小節の二拍目三拍目の間でですね。前以って歌詞を読んで居りますと「は」を間違つて「わ」と発音したりせずすむことです。では残つた週のための練習は「二十三」番の歌詞「む

○すべての連絡又送り先はMIA事務局にお願いいたします。

【お詫】東京西支支部一月の記録提出されておりましたので、お詫びいたします。

えきなうれいは、はらいて」の二つの「は」です。初めの「は」は「わ」と発音二番目の「は」と発音の所を逆になる場合があります。「二十七」番二段目の三小節目から三段全小節のリズム、音程等に注意して下さい。特に「よみを」の「みを」の間「さりて」の「りて」の間三段目の一小節の一拍目から二拍の間三小節目の一拍目から二拍に入る所の全音程は正確になるまで指導して下さい。「三十五」番あまり速くならぬ様に。まアウフ、タクトで入る時の注意、伴奏とメロディが同じでありませんのて出初めはとくに音程に気をつけて下さい。二段目の一小節三拍目と四拍目間の音程、二小節目の四拍目は付点八分音符と十六分音符です。三段目の「そのえたのしく」の全音程はいかげんに覚えないうで正確に歌う様に指導して下さい。四段目の最後の拍から右ページの一段目一小節全体の音程とリズム等も、新しい曲を覚える様に指導のて下さる事をお願いいたします。

六月の練習曲二十番

福音の中に占める扶助協会の位置

伝道部長 ダウエン・N・アンダーセン

「姉妹たちのささげものは主に受け入れられたと告げよ。……

すべての姉妹たちを招き、また数人の兄弟たちも招いて来週の木曜日が店の向うにあるメーソン・ホールに於てわれと会見させよ。

そのときわれは神権の様式にならって神権者の下に姉妹たちを組織すべし。以上は千八百四十二年の三月に予言者ジョセフ・スミスの言ったことばであって、指定された時に予言者は扶助協会を組織

しました。この時予言者と一しょに出席したジョン・テイラー長老は「天の律法に従がってこの制度が組織されたのを見て喜ばしい」と言いました。またサラ・H・キンボール姉妹は扶助協会の記録の中

で「神の教会は婦人たちがこのように組織されて始めて完全な組織になりました」と言って功績を予言者に帰しています。また千九

百四十二年に大管長会は「扶助協会が全世界における唯一独特の組織であることを、扶助協会の姉妹たちは決して忘れぬようにして

もらいたい。扶助協会は神に召された偉大な予言者に与えられた主の靈感によって組織されたからである」と言って教会の女性会員た

ちに扶助協会の意義を気づかせました。

教会がまだ若かった時代に、扶助協会はたえず予言者自身の監督の下にあってその勧告と指示を受けていました。予言者のあとをつ

いだ「神に選ばれた代々の予言者」の下にあってのもこれと同じよう

にその監督を受けて来ています。そして予言者は、扶助協会が神権者の下に組織された神権の様式にならって組織されたこと、また「扶助協会はこの神権時代に教会の事を指導し監督するように任命された人々を通して神が立てたもう一ついる神権の職を通して指令を受ける」ことを明らかにしました。

また十二使徒評議員会のマーク・E・ピーターソン長老は千九百六十年十月五日に開かれた総大会で、扶助協会の役員たちに次のようにお話になりました。私たちすべてはそれのことばを、自分たちを導びく燈台の光にしなければなりません。

「母親たち（もしくは婦人たち）は、神権者から出る再保証を必要とします……。宗教生活には、私たち男が稀にしか真価をしない女性の分野があります。女性に見られる典型の宗教生活はまことに神聖なものであって、それは現実にもまた文字通りに女性を神と共に働らく者にするものであり、また女性をその家族の中の女王とし、家族の中の正しい生活の中心とするものであります。この宗教生活の中にある女性の受けもつ要素を育てるためには、どの男でもその男性的な信仰を強めるために神権定員会の力を必要とするように、どの女性も女性同志の霊的の融れ合いを必要とします。女性はだれでも各自の霊的の性質を発達させるためにほかの女性たちと力

を合わせる必要があります。主はこれをお知りになって、その忠実な娘たちに特別な婦人組織をお与えになりました。それは予言者ジョセフ・スミスによって立てられました。それはわが教会の扶助協会組織であります。男が神権定員会を必要とするように、女は扶助協会を必要とします。どの家庭でもみな宗教生活が必要であるように、どの家庭でもみな神権者からも扶助協会からも得られる助けが必要であります。神権者と扶助協会との間にはいじり合いの調和と協力とがあります。この協会はまことに大きなものであって、貧しい人々やなやんでいる人々の世話をすることに関係があるばかりでなく、また良い家庭と高い宗教生活と主に一身を献げる着実な子供たちをつくりあげることに関係をもっています」。

この扶助協会組織は、教会にあるほかの組織とくらべることはできません。ベル・S・スパフォード姉妹は予言者デビッド・O・マツケイイから直接任命されて現在教会の扶助協会の会長であります。扶助協会の使命を次のように定めました。

(一)人間の身も霊も救うこと。

(二)神がまことに福音を回復したもうたという証詞を強めること。

(三)なやんでいる人々を救済すること。

(四)姉妹たちの才能と能力とを発達させること。

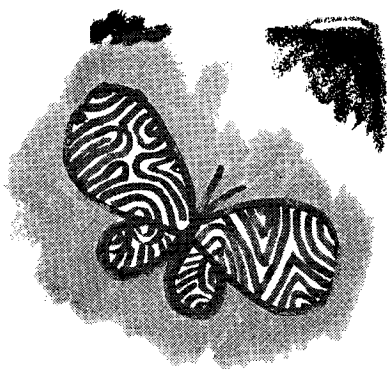
(五)家庭と家族生活とを強化すること。

(六)「天父の王国」を地上に建設するに当り神権者に仕える女性として働くこと。

この婦人組織は日本と沖縄にあるあらゆる支部とあらゆる地方部で神権者の援助と指導とが必要です。そのために支部長と地方部長とは直接に責任を負っています。これらの人々は扶助協会の

活動が将来盛んになるよう定期的に集って共に討議をしなくてはなりません。扶助協会は、できるなら扶助協会のための部屋を一つもつべきであります。できない所では、いろいろな設備や貯蔵しておく物のために鍵のかかる戸だなをもつべきであります。

また扶助協会は支部の台所の世話をするために任命を受けるべきであり、また扶助協会の設備の世話をするために、用だんすか戸棚を置く扶助協会用の場所を与えられるべきであります。





母親ルシイ・マック・スミスの語る

ジョセフ・スミスの生涯（十七）

第三十三章 教会が組織される

モルモン経が出版された年の四月一日ころ、ジョセフがまたペンシルベニアからまわって数回私たちに福音を宣べ伝えました。その結果、私の夫とマーテン・ハリスとがバプテスマを受けましたが、私の夫が水からあがってまいりますと、ジョセフが岸辺に立っていて父の手をとり嬉し涙をうかべて大声に「私の父がバプテスマを受けてイエス・キリストのまことの教会へ入るのをこの目で見ようとは！ わが神を讃美したてまつる」と申しました。そして、千八百三十年の四月六日、まことの教会が組織されたのであります。

註。モルモン経の印刷は千八百三十年三月の最後の週間に完了した。証拠によるとジョセフ・スミス（初代）もその妻ルシイ・スミスも、教会が組織された当日にバプテスマを受けたと思われる。

それから間もなく、私の息子たちは当時十四才にすぎなかったドン・カルロスに至るまでみな聖職に按手聖任されました。サムエルは多数のモルモン経をたずさえ、リヴォニヤへ伝道に行つて福音を宣べ伝え、できるならモルモン経を売るように命を受けました。

註。サムエル・H・スミスは当教会最初の宣教師である名誉を受けている。

サムエルがこの伝道に行く準備をしているうちに、ミス・アルミラ・マックがボン・ヤックからマンチェスターに着きました。この娘は、さきに私が経歴をお話したことのある私の兄弟ステイヴン・マックの娘でありました。そして、福音を宣べ伝えられるとすぐにこれを信じて時を移さずバプテスマを受けましたが、それからずっと変

らず教会の忠実な会員になつて居ります。

六月の三十日、サムエルはジョセフから特に任命を受けた伝道に出かけまして、第一日に二十五マイルの旅行をし、その間モルモン經を売るために多くの場所で立ちどまりましたが、彼が福音を宣べるやだちは戸口から追い出されました。夕暗がせまってきたとき、サムエルは疲れはててほとんどがっかりしていましたが、どこから見てもじゅんたくな様子に見えるある宿屋のところへ参りますと、宿屋の主人が自分のもっている本を一冊買ってくれるかどうか知りたいと思つて案内を乞いました。そして、中へ入つてゆくとすぐに宿屋の主人に、インディヤンの起原が書いてある歴史を買わないかとたずねました。すると宿屋の主人は、

「どうしてお前はこれを手に入れたか、おれにはわからない（怪しいものだ）」と言いました。そこで、

「私の兄が土の中から金版を発掘してそれから翻譯をしたんだよ」とサムエルが答えると、主人が

「このうそつきめ！ とつとと出てけ。その本をもつて一分でも居ると承知しないぞ」と大きな声をあげました。

サムエルは悲觀しました。それというのは、その戸口から追い払われたのがそれで五回目であつたからです。サムエルはその家を出て、しばらく行つたところにあつた小川に入り足を洗つてあの家の主人に対するあかしにしました。それからさらに五マイル進んで行きますと、道のじきそばに一本のリンゴの木があるのを見てその木の下で一夜を明そうと心にきめ、それから一晩中つめたくてしめっぱい地面の上に身を横たえました。朝になって彼はこのわびしいベットから起きあがりますと、じきむこうに一軒の小さないなか家

のあるのを見ましたので、少々食べるものにあつたかと思つて近づきました。その家には大へん貧しそうなやめの女がただひとり住んでいました。サムエルはその女にきのうひどい目にあつたことを話した末、朝ごはんをいただきたいとたのみました。その女がサムエルにごはんをつくってくれましたので、これをたべてからサムエルがモルモン經の由来を話して聞かせますと、その女は注意深く耳をかたむけて話を聞き、サムエルの言つたことをみな信じましたが、貧乏なのでモルモン經を一冊も買うことができませんでした。そこでサムエルはこのやめの女にモルモン經を一冊進呈し、そこから八マイルさきのブルミントンへ進んで行きました。

サムエルはここでメソジストの牧師であるジョン・P・グリーン師の家を訪れましたが、師はちやうどその時伝道説教に出かけるところでありました。グリーン師はほかの人々と同じように、その時くだらない作り話と思つた本を買う気はありませんでした。しかし、予約用紙を一枚もらおう、そして自分の行く道筋にその本を買う気のある人があつたなら名前をひかえておくから、君は二週間たつてまた来たまえ、そうしたら売れる見込みをしらせてあげると言いました。

このように師と取りきめをいたしますと、サムエルはグリーン師のところにもルモン經を一冊置いて家へ戻つてまいりました。

サムエルは約束の時が来たのでジョン・P・グリーン師の家をさして、また出かけましたが、それはグリーン師がモルモン經の販売に成功したかどうかを知るためでありました。この度は私の夫と私とがサムエルに同行いたしました。それはそれより二週間前にサムエルをあんなにひどくとりあつた旅館の近くを通つてみる気

があったからです。しかしその旅館のすぐ前にさしかかると、「天然痘」としてした札が出ていたので私たちは兄をとめました。私たちは道をそれてその町の人の顔を見ると、どのくらい天然痘がひろがっていますかとたずねました。するとその人は、旅館のあるじと家族の二人がつい先だって死んだが、そのほかに天然痘にかかった人は知らないね。あの旅館でとまった或る旅の人がこの近所へその病氣をもってきたんだと答えました。

これは一人の神の聖徒に食事を与えるよりも、自分の身も霊も亡びる方を選んだ人々が必らず受ける天の定めのように見本です。神の御ことばによれば、さばきの日にはこのような人々よりもソドムとゴモラの方がもっと堪え易いにちがいありません。

私たちはその夜リヴォニヤのピーマン宅に着きました。あくる朝サムエルムはグリーン師の家へ出かけましたが、それまで一冊もモルモン経が売れていないのがわかったので、私たちは翌日家へ戻ってまいりました。

第三十四章

ジョセフ・スミス(初代)とドン・カルロス、ストックホルムを訪れる

教会が組織された年の夏、私の夫はドン・カルロスをつれて夫の父アサエル・スミスを訪問しに出かけました。単調でたいくつな旅をした末、二人は私の夫の弟であるジョン・スミスの家につきました。彼の妻であるクラリッサはこれまで一度も私の夫に会ったことがありませんでしたが、私の夫が家へ入るか入らないかに「あら、あなた。あなたの弟さんがいらしたよ」と大きな声で言いました。これを聞くとジョンがくるりと振りむいて「ジョセフ、お前かい

？」と大声で言いますと、ジョセフは「わしだよ。お父さんは丈夫かい。お父さんが生きているうちにもう一度顔を見ようと思ってやってきましたよ」と申しました。

この訪問のくわしいことは、ジョン・スミスの日誌から抜き出して皆さまにお目につけましよう。彼は次のように書いて居ます。

「兄のジョセフが着いた翌朝、私たちは、父が私たちの弟のサイラスと一しょに住んでいるストックホルムへ、父と会うために出かけた。私たちは日暮れころに、兄弟のイエスの家へ着いたが、彼も妻も家に居なかった。子供たちの言うところによると、おちいさんが死にそうなので、二人ともおちいさんのところへ行っているとのことであった。私たちはとるものもとらず弟のサイラスの家へ急ぎ、着いてみると父はやつと今ひどい発作から回復したばかりだから、父や母にジョセフが来たことを言わない方がよいだろうと聞かされたので兄弟のイエスの家へ行ってその夜はとまった。

「私たちがイエスの家に落ちつくとすぐに、イエスとジョセフは家族のことを話し始めた。ジョセフは手短かに自分の家族に起ったいろいろな出来事、アルヴィンが死んだことなどを話すと、モルモン経が見つかったと譚話されたことを話し始めた。ところが、これを聞くとイエスはひじょうに怒り、大きな声で『もう何も言うな、一言でもモルモン経のことを言ってみな。すぐ家から出て行ってもらおう。どうしても出て行かぬなら、まさかりでお前を切り倒してやるから』と叫んだ。

「私たちはイエスからとてもひどいあつかいを受けることにはいづもなれていたが、これほどまでにされるのは今夜が始めてであった。しかし私たちはその晩イエスの家にとまり、年をとった両親を

翌朝見舞った。両親はジョセフの顔をみてとても喜んだ。ジョセフは長い間顔を見せなかったたので、二人とも生きているうちにはとうていジョセフに会えないものと思っていたからである。

註。父アサエル・スミスは、ジョセフが会いに行ったこの年の十月、すなわち千八百三十年十月三十一日に亡くなった。

「挨拶や、質問や、説明などがいつもの通りにあった後でモルモン経のことが紹介された。父はジョセフの伝えることを喜んで受け入れ、わしは今までいつも、まことの福音を知らせるために何かあらわれると思っていたよと言った。

「間もなくジェスが入って来て私たちがモルモン経のことを話しているのを耳にすると、昨晚と同じように怒り心頭に発し、『お父さんは心が弱っておられる。私はこんな話でお父さんの心を腐らせてもらいたくない。だからそんな考えすぐやめよ』と言いました。

「兄のジョセフは物やわらかに道理を説いて聞かせたが全くむだであった。そこでサイラスが『ジェスよ、うちの兄弟はわれわれに会いに来てくれたので私は喜んでゐる。だから私の家で彼の好きなように話すのを歓迎する』と言ったが、ジェスがひじょうに無礼な受答えをして口ぎたなくのしって止まないのので、サイラスはどうとう彼を家を出て行ってくれと言うほかはなかった。

「それから、兄弟ジョセフが語りはじめたところ、父は彼の言う一言一言がみな嬉しいように思われた。しかし、私は本当のことを言うとき、そのとき一言もそのことばを信じてはいなかったのだ。

「私はジョセフを父のところへのこして翌日家へ戻ってきた。それから間もなくジェスが私の家へ来て、私の兄弟たちがそろって私

を訪ねに来ていと告げ、そして『お前の生きているように真実に彼らはみなあのいまいまいしモルモン経を一句のこらず信じているから、お前も信じさせるためにわなをかけようとしているのだ』と言った。

「そこで私は、兄弟たちが私に会いに来ていることを知らせてくれたのはほんとにご苦勞であった、ありがたい、しかし私は宗教のことなら私自身で充分判断ができと思っている、と彼に話した。すると彼は『お前がこのような事についてりっぱな判断を下すことができる人であることはよく知っているよ。しかし言うておくが、あの連中は悪魔のように油断のならない連中だぜ。だから、私と一緒に行ってスーザンと義理の姉姉のファニーとに会ってくれんか。そうすれば彼らがジョセフの説得に心を動かさないようにすることができよう』と言った。

「そこで私たちは二人に会って、その問題について私たちが正しいと思った通り話し合い、次の日に私の家へ来てくれと二人に言った。

「さて私の兄弟たちはききにきめた通り私の所へ着いた。このときジェスも一しょにやって来たが、私たちの間にかわされる会話を一言も聞きもらすまいとひじょうに注意して耳を傾け、自身の前ではモルモン経については一言も出させようとしなかった。みんなはその晩、あくる日に女きようだいに会うことに同意したが、私たちが別れようとしたとき、兄弟のアサエルが私をかたわらにつれて行き『ところでジョン、お前はジョセフとすこし話をしてもらいたいいんだが、もし話をしてくれるならそれを皆くジェスにかくさなくてはならない。もしお前がしてもらいたいいなら、旨いことやってあ

げることができるが」と言った。

「そこで私が『もし機会さえあれば喜んでジョセフと二人だけで話をする』と言うと、

「アサエルは『じゃ私はある数だけ私の馬車へのせよう。サイラスはのこりの者をつれて行くだろう。そこでお前はジョセフを乗せる馬を一匹つれ出すがよい。しかし私たちの姿が見えなくなったらその馬をうまやへ戻してジョセフを一晚中とめておきな』と答えた。

「私はアサエルが忠告をしてくれた通りにした。そして、その晩ジョセフは『モルモンの教え』の根本真理を説き明してくれたが、以来私はそれが真理でないと言ったことは一度もない。

「翌る朝、私たち（すなわちジョセフと私）は女きようだったちに会いに行ったが、そこには兄弟のジェスが来ていて、昨晚ジョセフを引きとめたというので私をひどくとがめた。

「その夜、私たちが別れようとしたとき、私はあくる日ジョセフを私の馬車に乗せて二十マイルおくって行くことに同意した。ジェスはその夜、ジョセフを女きようだいの家に泊らせ私と一しよに馬に乗って帰った。ジョセフは今別れたら二度と顔を合わせるあてがなかったで別れにのぞんで気持ちよく愛情をこめてジェスの手をにぎり「お別れじゃ、兄さん」というと、ジェスは「もうこれきりだ、ジョー、さいなら」とぶつきらばうに言った。

「これに答えてジョセフが『兄さんが悔い改めなければこれきりかも知れんな』とやさしいけれども厳肅な口調で言うと、さすがにがんこなジェスにもジョセフの愛情がこたえて、彼の心がやわらいでその目に涙が浮んだ。しかしジェスは一言も答えず、また後から

この場のことをすこしも言わなかった。

「翌日、私は前に同意した通り兄のジョセフを馬車にのせて二十マイルの道をおくって行った。兄のジョセフは私と別れる前に次のように約束をしてくれと言った。すなわち私はジョセフが私にくれたモルモン経をきつと読むこと、読んでからたとえそのことを信じなくてもモルモン経を非難しないことがそれであった。ジョセフは言った『もしもお前がモルモン経を非難しないなら、お前にいつかそれが真理であるというあかしを得させてやるから』。私は約束を果たした。そしてジョセフのあかしが本当であるということをおくのごとく証明した」。

私の夫がその旅行から帰ってくるすぐ前、ある日曜日の晩にジョセフがこれから説教を始めようとしていましたとき、ひじょうに疲れた様子でパーレー・P・プラットが入ってきました。パーレーはかなり遠い所で私たちのことを聞きひじょうに急いで旅をしてきたのでした。それというのは、私たちのまちがいを教える準備をするために私たちの言うことばを聞きたいと思ったので、集りの時間間に合うようにやってきたからです。しかしジョセフが説教を終ったときに、プラット氏は席から立ち上って今提出されたあらゆる考えに自分の考えは心から一致すると言いました。そして、そのあくる日バプテスマを受けて按手聖任されました。それから数日のうちに彼は自分の兄弟であるオルソン・プラットの住むニューヨーク州カナーンへ出発しましたが、彼は千八百三十年の九月十九日にこのオルソンにバプテスマを施しています。

そのころジョセフはコーレスヴィルで暴徒のために悩まされ始めていました。暴徒たちはジョセフに令状を送達して、ジョセフが説

教をするため今やテキストを手にとろうとしたとき彼を説教壇から引きずり下しました。しかし、この件に関することは彼の書いた歴史に出ていますので、私はそれに関する出来事だけを申します。この件については当時ジョセフの法律顧問であったレイドというお方に負うているところが多いので、私のおぼえているかぎりできるだけその方自身のことばを述べることにします。

註。「タイムズ・エンド・シースンズ」誌、第四卷四十・四十六

頁、「ミレニヤルスター」増補第十四卷三十一頁参照。

また、ジョン・スミスは教会に加入して忠実な会員となった。

彼は千八百五十四年にソルトレーク市で亡くなったが、ジョセフ・スミス（初代）の兄弟のうちでロッキーマ山中の高原にある聖徒の集落地に着いたのは彼一人だけである。

「スミス氏が私を迎えに使いをよこした時、私はひじょうに多忙であつてその事件の世話をすることはほとんど不可能であつた上に、私はまだスミス氏に会つたことがなかつたので私は行かないことにきめた。しかし、このように心をきめたあとで間もなく私はだれかが私に『お前は行かなくてはならない。そして『主の油注ぎたもうた人』を助けよ』と言うのを聞いたと思つた。私はそれが、私のあとからついてくる人だと思つたので『主の油注ぎたもうた人』ですつて？『主の油注ぎたもうた人』とは何のことですか？と答えた。その人はこのように話しかけられたのを聞いておどろき『何でございますか？私は『主の油注ぎたもうた人』のことを何にも申しませんでしたと答えた。私はこの人が真実を語つたと確信した。それはこの数語が、いまだかつて経験したことのないような特別な感じを私の胸に満したからであつた。それで私はすぐさま裁判の行な

われる場所へいそいで行つた。

私がこの事件に従事しているうちに、あの特別な感情はますます高まつてきて、私がその事件について弁論をする番になつたとき、私は靈感を受けて全くそれまでにないほどの雄弁をふるつたが、それは全く圧倒的であり文句をつける余地のないものであつた。私の予期した通り、私は囚人を釈放させることに成功した。しかし、これによつて敵を一層怒らせることになつたので、私は間もなく、もしもスミス氏が逃げないと敵からひどい取りあつかひを受けるおそれのあるのに気がついた。ところが敵の大部分はアルコホルを好む連中であつたから、私は彼らを別室へつれ込んで飲ませ、スミス氏が彼らの手のとどこかぬところへ逃げのびるまで彼らの注意をそらすことに成功した。私はスミス氏がどこへ行つたか知らない。しかし私は彼が敵の手からのがれたので満足であつた。

この出来事があつてから今日に至るまで、レイド氏は教会の会員にならなくても、ずっとジョセフにとって誠実な友人であります。

ジョセフは暴徒の手をのがれてから翌る日の夜あけまで、二日間というもののわずかのパンきれを口にしたほか飲まず食わずで旅をつづけました。そして夜あけごろにジョセフは妻の姉の一人の家に着いてみるとそこに妻のエマが居ました。彼女はジョセフが始めて捕われてからずっとジョセフの身の上についてひじょうな心配をしていたのでありました。そして二人はここから連れ立つて家へ戻りましたが、すぐそのあとでジョセフは、その家族をウオータールーへ移せという命令を啓示によつて受けました。

扶助協会 レッスン

「神學」—教義と聖約

(千九百六十四年五月第一週)

第五十六課 黙示録

テキスト「教義と聖約」七十七章
目的—パトモス島に於ける使徒ヨハネに啓示された内から末日の智識に示された大切な教えを拾う。

はしがき

新約聖書の内であまり理解されていない聖典は黙示録であります。その衆徴を説明しようとして多くの書物が書かれたのであります。予言者が筆記者としてのシドニ—リグドンの援けを受けながら聖書の改訳をしていた時に主はこの書の或難解なところを啓示されました。けれども或時ジョセフ・スミスは黙示録は神が書かせた書の内でも最もはつきりした書物であると言いました。彼は教義と聖約第七十七章に、この黙示録二十二章の内から八章の内の或部分に就て注釈を加えているのであります。

総論

この啓示の書物は又黙示録として知られギリシャ語で将来を示す意味であります。著者、使徒ヨハネはこの啓示で、すぐにも起るべきことを、告げているのであります。(黙示録一：一 又一：一九及び四：一をも参照) この啓示はアジアのローマ領エベソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、ヒラデルヒヤ、及びラオデキヤの七つの教会に宛てたものであります。(黙示録一：四、一一) ヨハネは、この書の黙示は彼が小アジアの西南岸、パトモス島に居た時に受けたと述べて居ります。この使徒はクリスチャン迫害のローマ時代に在って島流しにされていたのでした。

末日聖徒の著者たちは概してこの七つの教会は特に啓示されるほどに靈的に価値ある状態に在たと解釈して居ります。一般的に教会は背教の状態にあったのであります。この点に就て「ジェームス・

イー・タルマツジ長老は次のように申して居ります。

黙示のヨハネがパトモス島に流されている時に殆ど全部の使徒がこの地上から取りあげられていたのです。彼らの多くが殉教したのです。そして教会の只七つの支部だけが特別な啓示をするに値するものとしてヨハネが命ぜられた程であるが背教は広く普及していたのであります。彼が見た素晴らしい現の内で七つの教会は七つの金の燭台によって又七つの星は各教会の管理者を以て表わされその金の燭台の真中に、人の子のような者、がそれらの星を持って立っていたのであります。

エモハにある教会は、そのよい行いを認められました。特にニコライ宗の異教を拒んだことに於て、よしとせられたのであります。が愛から離れたことに於て責められたのであります。しかし、あなたに対して責むべきことがあるあなたは初めの愛から離れてしまった。そこで、あなたはどこから落ちたかを思い起し、悔い改めて初めのわざを行いなさい。もしそうしなないで悔い改めなければ、わたしはあなたのところにきてあなたの燭台をその場所から取りのけ

よう。(ヨハネ黙示録二：四、五)

ペルガモにある教会に対してはヨハネは、或一部の人及び教師たちが偽りの教えを奉じているのを責めるように命ぜられたのであります。それらのことを私は憎む。主はこのように申し居られます。ラオデキヤの教会は、なまぬるい。熱くもなく冷たくもない。こと又実際には、みじめな者あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者でありながら自分は富んでいる、豊かになったなどの不自由もないと誇っていることを責められているのであります。(ヨハネ黙示録三：一七)

上述の聖句は昔の使徒たちがこの地上に於ける伝道を終える前に既に背教が急速に広がっていたことを証明して居ります。(大背教一九五三年編集 四四—四五頁)

第七十七章 翻訳の鍵

ヨハネ黙示録に関して、キリスト教界に存在する大いなる混乱は譌訳の鍵を失っている結果であります。この点に就て、教義と聖約注解(四七八頁)は、はつきりとした觀察をして居ります。即ち人が苦しみ背教と真の教会の回復がなかったと仮定するなら決してそれを理解することが出来ないでし

ようと云うことであります。この権威ある書は更に次のように続いております。

けれどもこの啓示(七十七章)はその書を全部、訳したものではありません。それは鍵であります。鍵は家の非常に小さな部分であります。それは入ることの出来る扉を開くのであります。扉が開かれたら宝の探求者は、自分で探さねばなりません。それは丁度、博物館に入るようなものでその中で学生は自分の知りたいものを自ら探さねばなりません。その情報の根源はそこにあるものであります。

(同上)

目的

以下世の中に知られていない七十七章からの多くの重要な真理に就て指摘したいと思ひます。本論は黙示録全般に亘つての分析を試みようとするものではありませぬ。明らかに最も大切な学ぶべき教課は、この神権時代の予言者の言葉に立脚して居ります。

教会の長老たちは主がはつきりとわかるようにしなかつた。いわゆる聖文の奥義を探しあてようとすることを繰返し警告されて居ります。この点に就て予言者ジョセフ・スミスは言つて居ります。

私は次のことを広く宣言します。即ち神が像、又は獸又は如何なる種類の形であつても、示現を与へた時は神はその意味を解釈する啓示を与える責任を持ちます。

そうでなければ私たちはそれを信する責任がないのであります。若し神がこの問題に就て啓示又は解釈を与へなかつたらその示現或は像の意味を知らないことによつて罰せられることを恐れる必要はありません。(教会歴史録 五：三四三)

更に予言者は続けて居ります。汝らイスラエルの長老たちよ我が声に聞け而して汝ら伝道に遣はされた時は声をあげて、汝ら悔改めよ、天国は近すぎたり、悔改めて福音を信すべし」と説けり、根本原則を宣言し混乱させられない為に奥義にふれるな、決して獸の示現又は、貴方が理解出来ないことに口出しするな(同上三四四頁)

教義と聖約注解に次のように宣言されている。

黙示録は聖典の中で最大なる書であります。そして主は明らかに聖徒たちがそれに通じるように意図して居られます。そうでなければどうしてこの啓示は教義と聖約

の内にありましようか。(教義と聖約注解四七八頁)

地球

末日聖徒は地球は人間の住まうべき家としてその創造に目的があるものと信じて居ります。早期の啓示に於て主は結婚は靈の神の息子、娘たちが永遠の進歩を続けるようにこの地球上につれて来られる神の御意志であることを示されたのであります。それは、この世の造られた目的に適わん為であります。(教義と聖約四九：一六)

黙示録の四章六節の、ガラスの海、とは何かの問に答えて予言者はそれは、聖められ、不滅にせられ、永遠の状態となりたる地球なり、(同上七七：一)と言われま

した。これはその住民に最後の審判がもたらされた時の地球の状態で日の光栄の人たちの住むべき場所となるのであります。この状態に就ての別の啓示は、地球は一つの「ウリムとトミム」の如くなり

ここに住む人はそれぞれ下位の王国に就て知ることが出来るようになるのであります。(教義と聖約一三〇：九)けれどもこの前に地球は死んで復活と同様の變化をします。(同上、八八：二五—二六)この考えは末日聖徒が地球は生き

た機関であると信じていることを示して居ります。(モーセの著七：四八—四九)

靈感された書物に地球の三つの状態に就て語られて居ります。現在—この内に含まれるすべてのものは私たちの呼ぶ死と云う變化を通らねばなりません。福千年の状態—この時期に地球は、より聖い英知の住所となるべく聖められ、或ものは滅ぼすべき又或ものは不滅の体となります。日の光栄の状態—黙示録の二十一章二十二章に述べられてある處で不死不滅、永遠の生命となるのであります。(タルマツジ・ジェームス・イー信仰箇条の研究五一七頁)

人間と動物

七十七章の二節の間は黙示録四章六節に語られている四つの生きものに就てであります。(更に教義と聖約注解四七二頁を参照せよ)これらは天と人間と動物と空中の鳥の幸福を象徴的に表現したものであると述べて予言者は人間と動物の靈に或光明を与えて居ります。顯著な考えは肉体的なものは靈的なものに対応していると言う

觀察の表現であります。このことは以前の教課で述べたように、人の靈はその人間像に似ている。又

動物の靈や、すべての神のつくり給える生きものも同様である」と云うことであります（扶助協會雜誌第二十課 一九五九年十月）單に人の靈が肉体の生れる前に存在してはたばかりでなく草木をも含む、すべての神の創造物が靈として存在したのであります（モーセの著三：五）

ジョセフ・エフ・スミスとジョン・アール・ウィンダー及びアンソン・エイチ・ランドを以て構成された大管長会は次のように書いて居ります。

神はその全能の力を以て地球及び、この内に在るすべてのものを靈から組織しました。その靈は神自身と共に永遠に実在する要素であります。神は繁茂するすべての植物、呼吸するすべての動物を、各々の種類に應じて靈的に肉体的に形成したのであります。靈界のものはこの世のものの象にしてこの世のものは靈界のものの象なればなり。（教義と聖約七七：二）神はおたまじやくし、類人猿、ライオン及びぞうをつくりましたが神の象に似せてつくらず又神のよくな理性及び英知をも与えませんでした。（イムブルードナントエラ、一九〇九年十一月）

この公式な宣言は人間はアミールから進化したと云う末日聖徒の受入れることの出来ない理論を放棄します。

私たちは、すべての獣は完成されて後の世に永続すると教えられて居ります。それぞれその種類は彼らの定められた序列又は範圍があつてその内に於て永遠の幸福を享けるのであります。この事實はこの神權時代に在って、はっきりとさせられたのであります。（大管長会、イムブルードナメント・エラ一三：八一 教義と聖約七七：一四）この声明は、はっきりと、つくられた獣や植物が復活するであらうことを確言して居ります。（教義と聖約二九：二二—二五）

歴史への鍵

教義と聖約七十七章六節及び七節にヨハネの見た七つの印を以て封印された巻物は明らかにアダムの墮落からのこの地上に於ける時期を示したものであります。（教義と聖約注解四七四頁）

若しも人が黙示録の六章に記されている。馬や殉教者などによって象徴されている。これらの封印の意味をはっきりとさせることが出来たら、彼はこの世の一般的な歴史を認識することが出来るでし

よう。予言された歴史は、十二章から十四章を通じて又その他の部分の種々の情報を以て示されたのであります。

時は土曜日の夜

黙示録七章一節（教義と聖約七七：八）に生命を救ひ或は壞る能力を有する四人の天使に就て語られてあります。ジョセフ・フィード・デイング・スミス会長はこれら四人の天使は麦と毒麦のたとえで指摘したことに適して居りウィルフォード・ウッドラフ大管長を用いてこれらの能力は既にこの地上に現わされたと觀察して居ります。更にこれらの天使はこの世に福音をゆだねる能力を持っているのであります。（スミス・ジョセフ・フィード・デイング教会歴史と現代の啓示、第一卷三〇〇—三〇一頁）

七十七章の十二節にこの地上に於ける七千年の人類の生存に就て再び指摘されている人々。オルソン・エフ・ホイットニー長老は、末日に於ける他の予言者たちが、私たちの住んでいる現在に就て、これがキリストの再臨の日が近づくつつある末の日であると云うことを如何に強調していることであらうか。

安息日及び同様にその他の日の象徴は、ジョセフ・スミスの著作の中にはっきりと示されています或箇處で彼は申して居ります。或は又主が彼を通じて言つて居ります。すべてのものがその象を持つて居り、我が記録をもたす為につくられたものである。それですから私たちは予言者の教えの内に次のようなことを発見しても驚くに足らないのです。今これを黙示録への彼の鍵から引用しましょう。（七七：六、一二）

問 裏に七つの印を以て封印したる、ヨハネの見たる巻物によりて何を理解すべきか？

答 その巻物は啓示せられたる神の聖旨と、神の興義と、神の御業とを載せ、またこの世のつづく七千年間、すなわちこの世が存在する期間に関する神慮の秘密を載せたものなりと覺るべし。

問 黙示録第八章に誌せるラッパの音によりては何を理解すべきか？

答 神は六日にしてこの世を造り、七日目にその業を終えてこれを聖め、また地の塵より人を造りたまひし如く、主なる神は第七千年間の始めに當り、この世を聖め人類の救いを完うしあらゆるもの

を審き、ただ御手の中に置きたまわざる者のみを除きて、その他の者をことごとく贖いたまわん。その時、すべてのものの最後に至るまで一切を結び固めたもうべし。故に七人の天使のラッパの音は第七千年目の始めに於ける神の御業の備えと結びなり。すなわち、彼のやがて来りたまわんときの途の備えなりと解すべし。

ここで参照されている日は、地球の回転による二十四時間の普通の観念によるものではありません。人を置く前にこの世をつくり給うた神は、その時まだアダムに時の計算を命じたまわなかったものであります。(アブラハムの書五：一三)それらは、人の日でなくれぞれ一千年間続く神の日であります。

ヨハネが見た巻物、はこの世の実際の歴史を現わしています。即ち神の目が見、記録する天使が記録したところのものであります。七つの封印せられた黙示の巻書は母たる地球が、六日間働らいて七日目を聖めの日として休み彼女のこの世に於ける使命を成就する大いなる七日間に相当するのであります。この七日間は私たちの宇宙の創造及び人の為の住むべき処と

しての準備を怠んじていないのであります。それらは地球の、この世の存在、に局限されたものであって永遠から判然と区別された時であります。

アブラハムの書の予言者の訳はこれらの大いなる日は、神の御座に最も近い強大な遊星、一千年に一廻転するコロブに従う、又はコロブの計算によるものであると説明しています。(アブラハム書三：四)そこでこの期間はコロブに於ける一日であります。

受入れられている年代学によると、(完全ではないが大体に於て正しいとされている)四千年又は七日の大いなる日の内の四日は、一時的な存在、の期間としてこの遊星に与えられキリストが十字架にかかる前に過ぎ去り、それから約一千年間が過ぎ去ろうとしているのであります。従つて地球の長い週間は今や終りに近ずき今日私たちは時期として土曜日の夜に臨んでいるわけであります。即ち人類の六日の終りが迫ろうとしているのであります。それは考えなければならぬ時、厳粛に祈りを捧げねばならない時期ではないでしょうか? 世界の安息日、平和の一千年間、福千年の黎明は今

正に訪れんとして居ります。(土曜の夜の考え一〇―一二頁)

特別の宣教師たち

七十七章十一節で私たちは「長子」の教会に來んとする者に永遠の福音をもたらし、イスラエルのあらゆる種族から十四万四千人の大祭司が選ばれるであろうと告げられております。予言者ジョセフ・スミスは、死者の救いに就て次のように言つて居ります。

私は永遠の生命の為に進歩して行きます。貴方は貴方の先祖に対してバプテスマを受けなければならぬだけでなく、貴方が貴方自身の救いの為に受けたすべての儀式を彼らの為に受けなければなりません。十四万四千人のシオン山の権手たちが訪れるでしょう。そして数えることの出来ない多数の人たちが彼らと共に在るでしょう。おお皆さん、前進しなさい、前進しなさい。そして貴方のお召しと選ばれたことを、全うしなさい。(教会歴史録六卷三六五頁)

地球の清め

主は多くの機会に於て、その予言者を靈感して、この地球の清めに關連して、現在及び将来に就て語られております。(教義と聖約五：一六―二〇、四三：一八―二

九 六三：三二―三七) 黙示録第九章(教義と聖約七七：一三)はこの地球を潔めるであろう或破壊の指示を現しています。これらの事に就てジョセフ・フィールディング会長は次のように書いて居ります。

黙示録第九章に画かれた、これらの恐るべき出来事は、今や成就されつつあります。その一部に就て私たちは既に証人となりましたが、その残りもすぐ訪れようとしているのであります。これはこの地球と権主がこの地上に於ける千年間の統治を始める為、來られる時、幸福にも留めることの出来たその住民を準備する潔めの過程であります。この章を読んでその成就の日が近づいたことを知る時、すべての人は真剣に考えるようになるのであります。

ヨハネの使命

七十七章十四節で私たちは黙示録十章八節から十一節に見られるヨハネに食べられた小さな書物は彼がイスラエルの支族を集める使命と解釈すると告げられております。これは舊教の時期の後の新しい福音の神権時代の始まりでありました。(教義と聖約注解、四七六―四七七頁) 黙示者(啓示を受

ける者) ヨハネは現在この使命に従事しているであります。一八三一年六日の教会の大会で次のように述べられました。

主のみたまが異状な方法によってジョセフの上に注がれました。

そして彼は黙示録ヨハネがアツシリア王シャルマネセルに連れ去られた、イスラエルの支族の間に在って、彼らが長い散乱から再び彼らの父祖の地に戻るように彼らを準備させていると予言しました。(教会歴史録一巻一七六)

二人の証人

七十七章の最後の節は、エルサレムに攻めて来た氏にユダヤ人が滅されるのを防ぐ能力を持つてあろう二人の予言者が末日にユダヤ人に起されるであろうことを啓示す黙示録第十一章を参照して居ります。エルサレムの地で演ぜられるべきこのエピソードに就ては次の教課で再び述べられるでしょう。

考察の爲の質問

一、黙示録はヨハネ以前の事、又将来の事に就ても告げている事実の例を挙げて下さい。

二、何故ヨハネはその啓示をアジアの七つの教会に宛てましたか?

三、黙示録を理解するのに七十七章の限界は何でしょう?

四、時は土曜日の夜、は何を意味していますか、又この意味への如何なる参照がこの教課の中に見出されますか?

仕事会

(千九百六十四年五月の第二週)

「末日聖徒の家庭」

考察の十六 家族の休暇及びリクレーションの計画

目的—家族が創造的に自発的に又楽しく共に働けるように元気づけるところの家族の集い及び旅行を建設的に計画すること。

若しも、働らいてばかりいて遊ぶことがなかったらジャックは活気のない少年になってしまふ。又遊んでばかり居て働らかなかつたらジャックは玩具になつてしまふ。と云うことが真実であるならばジャックとその家族は、この面極端を避ける道を考えねばならやせん。たそがれを見たこともなく打ちよせる潮水の音を聞いたこともなく、花や鳥や樹の美しさをめだつこともなく、又如何なるものでも自らの建設的創造的時間を持たないジャックやジェーンたちが居ります。ジャックやジェー

ンがこの二十世紀に生存する以上当然、すぐれた学問を身につけるべく努力すべきであります。若しも彼らが人生に真の意義と目的を与え、共通の文化を榮えさせる道徳、社交、美学及び靈的価値を理解するならば、その経験を貧弱なものとするべきではありません。

それぞれの環境に於ける子供にとって直接の経験が最もよい教育であります。このように家庭はジャックやジェーンを教育し彼らが標準的な生活を發展させる主な機関であります。家庭内の創造的な活動を通じて又旅行、遠足、風揚げその他家族の興味ある行事が平均を保つ授けとなることを経験が示しています。

五才のジャックとその家族は洞窟に遠足して鐘乳どうに就て学びました。彼はこの発音のしにくい言葉を云うことを学び、磨かれた一塊の鐘乳石を買つて、鉱石収集を始めました。彼はその鉱石は如何なる要素を以てつくられていたか、又洞窟のどのような状態で生産されるか知りたいと望みました。友だちや親戚が彼が鉱石に非常な興味を持っていることを知つていろいろの標本を持って来てくれ数年後には家族の人たちが住む

ところもない程に一ぱいになってしまいました。この経験をj経てジャックは意外にも成長し、現在その研究は潜水艦に居る間の人の炭酸ガスに堪えられる限度を人工衛星に適用し、それに塔上している間に、人が何時迄炭酸ガスに堪えられるかを決定する班に属しています。が今やこれによって防空室を打建てんとしています。洞窟への家族の遠足とそれに引き続く諸活動がジャックの現在の研究に影響したことは当然考えられることであります。

もう一人の小さなジャックは子供の博物館に家族で遠足に行った後石鱗で動物を彫刻しました。そして一年の内にその石鱗の動物は殆だなからすべての書籍通行進するようになり刻んだ石鱗くずは家内中の入浴、洗たくの使用に充分となりました。山野を歩くことによつて新しい動物を見出し、又その材料として木や粘土迄使ふようになつて石鱗の動物園は拡大して行つたのであります。三十才の時に彼の妻と五人の子供への贈物は粘土で塑像された半身像でありました。これはその六人みんなが参加した創造の経験でありました。一才の時小兒まひにかかつて手

足が不自由となった人が四十一才で誇りを以て家族を養い、気持のよい山荘を構え、自ら自動車を運転し、誰に世話になることもなく自分自身だけでなく家族迄見て居ります。この著しい成功は、彼がお父さんと一諸にお父さんが修繕した大きな時間記録器を見に製鍊所に旅行した時に始められたのであります。その後彼は時計、懐中時計、腕時計に深い関心を示し、その複雑な貿易事務をもすべて学んで充分にその生活費を得ることが出来たのであります。

生活を支える工夫は何処で始められるのでしょうか？ 種子は早く蒔かれ、偶然のように見えたものが、それを追い求めていくと偉大なるものに成長して行くのです。旅行、遠足、博物館見学、ピクニックなどは生涯を富ませる経験となるものですから、一週間の予定計画に入れるべきであります。休日に山登りしたり海岸に行ったりすることは早くから計画せねばならず又予算を必要としますが、そのような楽しい思い出は長い将来にとって、有効なものとなります。

リクレーションを定義すれば、
・労働して疲れた後に気分を新に

し再び元氣をつける、即ちレクリエイト(再創造)することであります。この疲れを休め元氣を取戻すリクレーションの最も模範的なものとして、タイ国の風揚げがあります。多くの場合家族がお互に援け合つて、めいめいの風を作り出す。少年の風、少女の風、小さいの、大きいのそれぞれ特長ある形をしています。すべての年齢の人が心から、壮観な風の空中舞踏を楽しむのであります。風が彼らの髪をなびかせると彼らは笑い、叫び、歌い、着物を強く身にしめるのであります。風揚げの後で彼らはマイペンラ(何でもない)と云つて、軽い気持でその後の人生の諸問題に立向って行くのであります。

母と父と息子たちと娘たちと、共に集つて、笑い楽しみ、気分を新にし元氣をだした家族のちぎり程、貴重な思い出があるでしょう。貴方は毎週どんなリクレーション的な活動を家族と分ち合つていますか？ 又年内にどのような旅行又は遠足を計画していますか？

社会科学

(千九百六十四年五月の第四の集り)

「神の律法と教会制度」

第十四課 教会の組織と機構の要約

目的—教会制度の機構と運営に於ける神性の影響の証拠を強調する。

教会は神の律法に従つて神権によつて組織された信者たちの体であります。それは全能の父が地上に於ける神の子たちの救いの計画に含まれるその目的を遂行する為に必要な権利と能力と権能を投資された組織であります。(ウィット

オール・ジョン・エイ 教会の計画一九四一年編集、二二頁)

シオン、心の清い者。この地上に於ける神の王国は末日聖徒イエス・キリスト教会であつて他の如何なるものでもなく、神性に回復された生きた神の神権の能力を以て又その儀式組織、作用、設備、更に純潔なメッセージ、永遠の福音の真理を以てその暖い手を世界

全人類にさしのべ御父の子たちをこの上ない喜び、永遠の進歩、主の御前に導いて居るのであります。(リチャーズ・ステフエン・エル、何処に智慧がありますか？

四〇六頁

神権は強力な創造的能力でありこの地上で指揮する勢力であります。アダムは神の子の位に等しい神権を持つて居りました。各神権時代に神はその神権を活用され、統治され、人類家族に御奉仕されたのであります。

神はその子たちの福祉を考え、常に創造の目的を自覚されてこの地上に平和をもたらし、人々の間に善意をもたらしとこの神の教会の制度を現されたのであります。

末日聖徒イエス・キリスト教会は今日、この地上に於ける神の王国であります。それは権能を与えられた代行者によつて治められ完全な福音を有して居ります。このことは神が人間がその喜び、幸福昇栄を求めるときに授けるべく現された、すべての知恵、勸告、指示(神の律法)を意味して居ります。

神権の回復

一八三〇年四月六日は末日聖徒イエス・キリスト教会の絶頂であると同時に始まりであります。その歴史に於ける主要な事件は一八二〇年の早春に森の中で起つたのであります。この静かな平和な場

所で昔の聖文の証は少年ジョセフ・スミスが御父と御子を見ることによって立証されたのでありました。神の教会はこの地上に存在してないといふ云々の彼に對する宣言は教会の組織を以てその絶頂に達する一連の事件の始まりでありました。

ジョセフとオリヴァに神権が与えられる迄に教会制度に殆ど注意が向けられていなかったことは注目しに値します。われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには啓示と權威ある者の按手により、神によりて其任に召されねばならぬことを信ず。(信仰箇条第五條)

これら一連の事件には天使による指示、訓練をも含みますが、その主要なものはキリストが十字架にかかった後、教会の頭とすべく時の絶頂の時代に選ばれたバプテスマのヨハネ及び使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネによって、この地上で公式に神の名によって行動する權能がジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに与えられたことであります。神権が回復されてから少し後にモルモン經の翻譯は完成したのであります。それはイエス・キリストの使命を証するところの神の爲の新しい証人となりました。神の權能を以て行動し、又モルモン經の内に含まれる完全な福音をこの世に証する聖なる神権を以て予言者ジョセフ・スミスは先づその仕事の焦点を教会の組織に置いたのであります。

教会統治は神権の活動で

あります

聖靈の啓発

予言者ジョセフ・スミスは私たちに次のように告げて居ります。即ち彼らがバプテスマを終えるや直ちに聖靈が降って彼らは来るべき重大なことに就て予言したのであります。彼は言つて居ります。今や私たちの心眼は開けて、聖典の真の意味は私たちの理解力の前に開け放たれ始めた。そして一層奥深い意味を有つ章句の真意と眞の意向が、今までに達し得たこともなくまたは考えても及ばなかったほどにはつきりと示された。(高価なる真珠二：七四)

神権の權能と聖靈の啓発を受けてから教会は組織されました。質問と啓示の過程を通じて予言者は全部一度にでなく、一步々と、人の力を以てしては比べることの出来ない組織を完成する迄、その制度の詳細を受けたのであります。

神権の召しの神聖

私たちの勉強課程に於て私たちは神権が回復されその基礎の上に教会が建てられたことに注目します。末日聖徒イエス・キリスト教会は如何なる既存の教会の過誤であると言われる点に反対(プロテスト)して建てられたものではありません。それは直接キリスト自身からの指示によつて神権によつて建てられたものであります。私たちはアロン及びメルケゼデク両神権のすべての職は主のみわざにとつて神聖であり重要であることを念頭におかねばなりません。神権の職に聖任されることは殊遇であり、教会統治にたずさわることは、ほまれであり祝福であります。神に認められた代行者として行動する資格を以て人々の間に神の權能を実施することは、すべての人間行動の内に在つて神の如き行為をなすことを要求される

のであります。人が完成に返づる程、神権の職を、より効果的なものとするのです。それでですから神権の保持者がこの完成を達成する時、それは教会の運営に反映されるのであります。

靈を宿す人の価値

教会統治に於ける神権の重要性に就ては前述の討論で指摘しました。神権の權能なくして公式に何事をもなすことは出来ません。教会の制度、教会の全組織及び計画は人類の福祉の為に創造者によつて企画されたものであることも指摘されねばなりません。神の主な目的及び關心は人間の完成にあると云う声明を指示する多くの証拠があります。例えば始めにすべての英知は神と共に永遠なるものとして実在したのであります。個人の人格は、神がその父親であることに於て神聖であり父なる神は、すべての人が永遠の生命を持てるようにその道を開く爲に、一人子を犠牲に供されたことに於て証拠立てて居られます。それでですから神の教会はこの地上に建てられ、その主な目的は人類に人生の目的、神及び人に対する人の關係を伝え、人が神の子としての自身の可能性及び責任を自

覺するようにさせることであります。

人々に悔改めを説き、この生涯に於ける大いなる完成と、日の栄の王国に於ける昇栄を確証する人生の模範に従うように呼びかけることが一貫した神権の任務であります。

神権定員会と教会の組織

人の生涯と教会の組織と運営を効果的ならしめるには神権の能力の授けと作用に系統と秩序がなければなりません。神権を授けられる特権を決定するものは、価値ある人格、奉仕せんとする意志、神権に負わされる義務と責任の認識を含みます。

能力の効果的な使用で最も大切なことは、それを管理下に可能な状態に保つことであります。能力の根源と適切に連結することが決定的に重要であります。神権を論ずるに当って神はその能力の根源でありそれはこの地上で権能を与えられた代行者を通じてのみ管理され命令され、正義の原則によってのみ支配されるものであります。

教会内ですべての潜在的（発動せざる）神権保持者の神権の能力行使を管理する規定が絶体に必要

であります。正義を以て主に仕える神権保持者が自ら善を為すことに何らの制限もありません。けれども教会制度内の職に就くか或は教会の如何なる組織内の指導的地位に就く場合でも、正しい権威者によってその職に召されなければならぬのであります。

神権の秩序ある作用と発展の為にアロン神権及びメルケゼデク神権を保持する会員たちは定員会に組織されます。末日聖徒イエス・キリスト教会に於て定員会は執事の定員会又は長老の定員会と云うように特定の単位としてそのすべての会員に参照されます。

メルケゼデク神権定員会の目的

(一) すべての会員に福音の教義を教えることによって福音の学識を促進すること

(二) 教会に奉仕する機会を備える

(三) 定員会全会員及びその家族の物質的、智的、靈的福祉に就て世話をすること

(四) 社交、運動などを通じて定員会全会員相互間の友情を図る

(五) メルケゼデク手引き(二一頁)

定員会は神権の組織体として模範的な礼儀作法、共通の目的、一致協力、各会員の福祉に就ての重

大な関心を、暗に表示して居ります。定員会はこのようにして、教会の指導者の養成所となつて居ります。実際に於て定員会が充分にその機能を果しているなら、教会のすべての活動及び必要な指導に最も成功的に應ずることが出来るのであります。確かに定員会の会合そのものの中にはなく定員会の会合そのものを完全に遂行して行くときにすべての必要な組織は神権の指導の下に形成されて行くのであります。

教会政体内の神権

教会政体の基本的機構は中央管理職と地域的単位組織に見られます。教会政体は神権の機能であります。神権の権能と鍵は教会の予言者、聖見者及び啓示を受ける者に集中して居ります。大管長会、十二使徒会、大祝福師、十二使徒会補助、七千人会、七人会长会及び管理監督会は教会の幹部を構成します。彼らは教会の仕事にステークス部、ワード部、伝道部及び支部の役員を通じて行います。ステークス部長会、大管長会によって任命されます。ステークス部長会は正しい権能を与えられてからステークス部内の必要な役員を召してステークス部内の仕事をするように任

命することが出来ます。監督会、祝福師、大祭司定員会会長、ステークス部伝道部長、ステークス書記及び高等評議員は例外です（教会幹部より許可がない場合）これらの人々の任命は十二使徒会、十二使徒会補助及び大祭司に聖任されて居る七千人会七人会长会の手に保留されてあります。

監督会は大管長会によって許可され、正しい教会幹部によって按手任命されます。そこで監督会をはじめてワード部の必要な役員を召して、按手任命することが出来るのであります。

ステークス部長会は支部が必要な場合には、支部長会を召して任命することが出来ます。

教会の伝道部は大管長会によって召され任命された伝道部長によって管理されます。伝道部長は二人の補佐と共に伝道部を管理します。支部長会及び地方部長会は伝道部長会によって按手任命されます。伝道部長会は大管長会を代表し、大管長会の指示の下に伝道部の公式事務を執り行います。

神権定員会は支部、ワード部、ステークス部伝道部の支持単位（一団の人）であります。彼らは前述教会の各機関が教会の仕事

運営して行くに當つて必要とする人材を備えます。教会の管理系統は教会の運営を司ります。神権の系統は、神権の目的を通じて各定員会会員の指導能力を發展させる責任を持つて居ります。末日聖徒イエス・キリスト教会員たることは義に従つて活動することを意味して居ります。それは福音の眞実なることを実行によつて示さねばなりません。御言を行う人になりなさい……。ただ聞くだけの者となつてはいけません。(ヤコブ書一：二三)

既に指摘したように定員会は教会の指導者養成所であります。指導者たることの大切な特長は、如何によく従う者となるかでありまゝ。定員会の会員たることは、個人の才能を改善して、その能力の最善を尽して他人の爲に何か奉仕しようとする希望を示すものであります。

悔改めの福音

イエス・キリストの福音は悔改めの福音であります。キリストは人類に完全な模範を示し完成に導く生き方を与えました。人がなすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとつて罪である。(ヤコブ書四：一七)

悔改めの呼びかけは人生のすべての活動している或は静止しているを問はずあらゆる処に於ける人々に及ぶものであります。大きな目的は全人類を創造者の光と知識と知恵に導くことであります。これこそ完成に近づくものであります。如何にすべきか知つていないだけ行かないすべての人は悔改めなければなりません。人はすべての善い知識をのぼすことを止めるべきではありません。

教会のプログラムの中で悔改めの考えは常に注目されて居ります。人間性と言うものは訓練されねばなりません。人の食欲は彼自身よくなり進歩する爲に節制されねばなりません。眞の悔改めはその動作に永えんの変化をもたらします。

人生と救いの計画はすべての人に正しい生活の価値と利益を教えます。過つた者には彼らの過ちを自覺して自ら創造者の意志に従うように特別な注意が払われます。神の律法は過つた者が知恵と導きと、恵みと愛を通じて回復されることを強調して居ります。

教会の法廷又は裁判評議會は人々を悔改に導くことを目標として居ります。彼らは事件の眞実を明

らかにし、懲罰又は破壊を目的とせず、イエス・キリストの福音の永遠の価値にそつて、正しい生涯に立戻るように励ますのであります。教会法廷に於て破門と云ふ嚴重な処置を宣告せねばならない場合には於ても、教会会員の心の内には常に赦す氣持がなくてはなりません。イエスは彼が赦そうと思ふ人を赦すが私たち各人はすべての人を赦さねばならないと申して居ります。

教会法廷で認められた判事は各人の罪を許すことを要求されず、むしろ嚴格な罰を下さすべき立場にあります。けれどもすべての判事はその心に赦しの氣持を持たねばなりません。

裁判評議會は罪を犯した人が訓練と自制にしげきされるようにその個人的な進歩を援ける爲のものであり、その爲必要欠くべからざる存在です。またあるというのを覚えておくべきであります。教会の法廷は私たちの人生の高い理想と価値を支持するものであります。愛は神権の眞の動機であつてすべての人類社会の根本であることを記憶すべきであります。確かに教会法廷で裁判を行うにあつては主自らが確言されたよう充分な

慈悲な心を以てすべきであります。

教会制度は人の進歩の爲に始められたのである。

イエスはその生涯をその友への奉仕に捧げました。これは彼がその教会及び王国の会員一人一人の前に置いた模範であります。教会の中の各人は指導者たる能力のある人です。若し各人が教会のプログラムに従うなら、教会の中で与えられるであろう如何なる任務をも遂行出来るように彼自身を準備することが出来るのであります。役員又は教師として成功する爲には、人はへりくだり、まごころを以て忠実に進んで一生懸命に働かねばなりません。

教会の召しの機会と責任はそれを受ける人にとって平等であります。この機会には各人に進歩と成長をもたらしめます。その責任は他人が幸福と理解と完成を追求めるのを援け、他人に奉仕することを要求します。この無私の奉仕がその人の能力と効果を増大し確呼たる確信と指導力を打建てるのです。召しを受け入れた人への報酬は非常に大きいです。奉仕の眞の価値は主の仕事一言で云えば人類を高揚する爲に時間と才能を捧げる

ことによつてもたらされるのであります。

参 照

教義と聖約 一八、二〇、二七

四二、四三、五八、一〇二、

一〇七、一一四、一一五、一

二一、一二七、一三二各章

ウィット・ジョン・エイ 神権

と教会制度 九、一〇、一一

一二、一三、一四、一五、一

六、一七、一八各章

スミス、ジョセフ、ファイルディ

ング 教会歴史 九章

高価なる真珠 ジョセフ・スミ

ス

信仰箇条の研究、一〇、二〇、

二三章

考察の爲の考え

一、貴方は教会の神性に就てどの

ような証拠を挙げられますか？

二、教会制度と組織の眞の目的は

何ですか？

三、教会の組織される前に神権が

何故回復されねばならなかった

のですか？

四、神権は神の能力であり教会統

治はこの能力を実行にうつすも

のであることを受け入れて、私

たちの日常生活に教会のプログ

ラムを如何に重要に考えます

か？

五、教会統治の作用に於て悔改めと赦しの原則が如何に重要でありますか？

六、貴方個人として教会統治の作用に如何に重要な存在でしようか？

訪問教師のメッセージ

(一九六四年五月第一週)

「教義と聖約」にもりずいて実践する真理

メッセージ第五十六

「されば汝ら、われすなわちイエス・キリストに就きてわれは生ける神の子……なることを証すべし。」(教義と聖約六八：六)

目的・今日の世界に最も大切で必要

なことは、イエス・キリストが生ける神の子である

と云う証であることの事実を強調すること。

イエスがドリボ・カイザリヤの

地方に行かれた時、弟子たちに人

々は彼をだれと言っているかとた

ずねました。彼は又ある人々はバ

テスマのヨハネだと言ひ又ある人

はエリヤだと言ひ又他の人はエレ

ミヤ或は、予言者の一人だと言っ

ていると答えました。そこでイエ

スは弟子たちに彼らは彼をだれと

思っているかとたずねました。シ

モン・ペテロは答えて言いました

。あなたこそ、生ける神の子キリ

ストです。(マタイ伝一六：一六)

救主はその伝道中に若しも彼の教えが弟子たちの内に長く留まるなら彼らが疑いもなく彼が長い間約束されていた救主生きた神の子キリストであることを知るに相違ないと云うことを知って居られた。この証が主がこの地上に生きて教えて居られた時に大切であつたとしたなら私たちの生きて

つたとかによるのではなく約二千年前に教えられた教えを受け入れるか、どうかにかかっているのである。

今日私たちは科学の世界に於て

地もゆるがさんばかりの進歩と完

成を経験して居ります。私たちの

生活を豊かにする著しい電気製品

の発明がなされて来ました。私た

ちは素晴らしい宇宙開発の進歩を

遂げ月旅行さえ論議されるよう

になりました。けれども、私たちが

イエスがキリストであるというこ

と、又彼が私たちの救いの爲に生

れ死に復活したことに対する確信

を持たない限り、これらすべての

達成又は勝利も、私たち人類の根

本問題を解決する援けとならず又

永遠の救いを得る援けともなりま

せん。只この証と主の教えに従お

うとすることによつてのみ私たち

は心の平和と、眞の幸福と、この

地上に於ける平和と、来世の善び

を確保することが出来るのであり

ます。

この末日に福音が回復されてか

ら私たちの教会の指導者たちはキ

リストが実際に神の子であること

の個人的な多くの証を宣べ、私た

ち自身の証を持ちそれを強めるよ

うにすすめて来ました。その強力

な一つの例として、マツケイ大管長は次のように証して居ります。

私は全心を以てイエス・キリストを人類の救主として又、贖主として受入れます。私の贖主救主、主として彼を受入れることにより当然私は彼の福音、救いの計画として幸福と平和への一つの完全な道として受入れるのであります。(インストラクター一九五七年六月)

回復された主の教会の会員として私たちは個人の証を持ち、イエスは生きて居り、彼は生ける神の子であると言う証を自分自身に対し又他人に対し宣べる厳肅な義務を持つて居ります。如何にして私たちはこの証を持つて出来るでしょうか？

私たちの証をつくり強める最上の道は聖文の中で彼に就て読み、彼の誠命を学びそれを実行することでありませう。私たちは繰返して告げられて居ります。若しも私たちが主が私たちに告げる事を行なうならば私たちは彼が確かに私たちの救主であることを知るであります。イエスは言いました。

神のみこころを行おうと思ふ者であればだれでも、わたしの語っているこの教が神からのもの

か、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであらう。

私たちは自らの証を宣べること又他人の証を聞くことによつて私たちの証を強めることが出来ませう。私たちは適当な時に家族に又友人に証会に於て証を宣べるべきであります。

更に私たちは、資格ある者として清い心を以て聖餐をいただく時主に対し、自分自身に対し又集つてゐるすべての人に対し、私たちは、善んで御子の御名を受け、御子を常に忘れず、またその下したまえる誠めを守ること……を厳肅に証するのであります。私たちは聖餐をいただく時、私たちは主を思い、私たちに与らされる主に対する証の祝福に思いを致すべきであります。

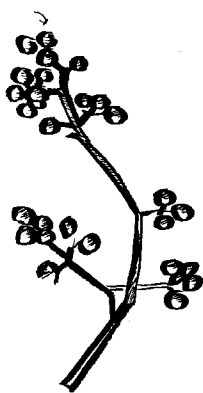
私たちの証を強め、宣べることによつて、私たちは昔の予言者ヨブと共に、わたしは知る。わたしをあげなう者は生きておられる、と言うことが出来ます。(ヨブ記九：二五)

美しい讃美歌に表現されていませうに、この確信は如何ばかりの善びと慰めをもたらすことでありませうか。グラント大管長は曾て言われました。貴方の心に

神は生きて居りイエスはキリストであると言うことを知る善びに比べられる善びはこの世にありません。(予言者と共なる一時 一九七頁)

私たちは教義と聖約の中で教えられています。若し私たちの証が又生活が救主イエス・キリストを証するなら私たちは主の約束。この故に汝ら大いに元氣を出して怖るることなかれ、そは主なるわれ汝らと共に在りて汝らを護ればなり、を受けるのであります。(教義と聖約六八：六)

確かに如何なる人にとつてもこれ以上の祝福はないのであります。



SEITO NO MICH, EGO PLAN APRIL
THE STORY

EASTER, A VERY SPECIAL DAY

(Missionaries, there is not room to document the scujatues theyean easily be foud in mayihew, mark, huk and John.)

AND THE ANGEL ANSWERED AND SAID UNTO THE
WOMEN, FEAR NOT YE: FOR I KNOW THAT YE
SEEK JESUS, WHICH WAS CRUCIFIED.
HE IS NOT HERE: FOR HE IS RISEN, AS HE SAID,
COME SEE THE PLACE WHERE THE LORD LAY.

MATTHEW 28:5-6

Easter is a very special day in America, because we believe in *Christ* and Easter Sunday is the day that *Christ arose from the dead* to live again. The story of Easter began on a Friday many centuries ago, the day before the *Jewish Sabbath*.

It was a day of great sadness for the friends of Jesus, because his *enemies* had hung him on a cross.

After Jesus died, His friends put His body in a *tomb* hollowed in the rock. Then Joseph "...rolled a great stone to the door of the *sepulchre*, and *departed*."

The next day many important people called "*Priests*" and "*Pharisees*" came to *Pilate* who was a judge and told him that they remembered that Jesus had said that after three days he would rise from the dead and live again. Many people did not believe this *would happen*, but they wanted to seal the tomb and place soldiers to guard it for three days "...lest his disciples come by night, and steal him away, and say unto the people, He is risen from the dead..." Pilate was willing and said to them, "...Ye have a watch. go your way, make it as sure as you can." And that is what they did.

When the Sabbath Day had ended, the first day of the week came and *Mary Magdalene* and *Mary* went to the tomb. But before the women had come, there was a great *earthquake* and an Angel from heaven came and "rolled back the stone from the door, and sat upon it." The men who had been *guarding* the tomb were so *afraid*, as soon as they could, they *hurried back* to the city to tell the priests what had happened. The Priests did not want the people to know the truth so they gave the men money to say that Jesus friends had come and *taken him away*.

When the two women came to the tomb, the angel said "...go quickly,

and tell His disciples that he is risen from the dead; and, behold he goeth before you into Galilee; there shall ye see him..." *Mary Magdalene* ran ahead and saw two of the disciples and told them that they had taken the body of Jesus. *Peter* and *John* ran quickly to the tomb and saw that it was empty. "Then the disciple went away again unto their own homes." But *Mary* stayed near the tomb and went *inside* and saw two *angels* who asked her why she was *crying*. She answered, "Because they have taken away my Lord and I know not where they have laid him." When she turned around, she "...saw Jesus standing and knew not that it was Jesus." In a moment Jesus spoke to her, saying "...Woman, why weepest thou? whom seekest thou?" *Mary* thought that He was the *gardener* and she asked him if he knew who had taken Christ away. Jesus could tell that she did not know who he was so he called her by name, "*MARY*" Immediately, *Mary* knew that it was Jesus and she called him, "*MASTER*". He spoke to her again and told her that she *could not touch* him "...for I am not yet *ascended* to my Father; but go to my brethren and say unto them, I ascend unto MY FATHER, and your FATHER; and to my God, and your GOD."

During the days that followed the *RESURRECTION*, Jesus appeared often to his *apostles* and told them to teach the things that he had taught them in His name among all nations, beginning at Jerusalem. Then Jesus took the apostles to *Bethany* which is near Jerusalem "...and he lifted up his hands, and blessed them, he was parted from them, and carried up into heaven. And they *worshipped* him and returned to *Jerusalem* with great joy."

WORDS

NAMES and things	PHRASES	WORDS	VERBS
Mary	arose from the dead	angels	guard (guarding)
Easter	would happen	watch (guard)	departed (depart)
Jesus Christ	hurried back	earthquake	afraid
Jewish Sabbath	taken him away	enemies (enemy)	cry (crying)
Joseph	go quickly	gardener	ascend (ascend)
Priest	could not touch	tomb	worshipped (worship)
Pharisee	special day	sepulchre	
Pilate	apostle	apostle	
Mary Magdalene		inside	
Peter			
John			
"Master"			
Bethany			
Jerusalem			
RESSURRECTION			

TION which is happening right now. It also, shows a special action that is NOT complete at this moment.

2. This simple present tense also expresses a general fact or a repeated action.
3. The verbs LIKE, KNOW, UNDERSTAND are used in the simple present tense, but NOT in the present tense with ING.

EXERCISE: Have the students supply the form of the verb needed. Then have them use different verbs to form sentences with ING. LIST A NUMBER OF VERBS ON THE BOARD FOR THEM.

EXAMPLE: John (LOOK) is looking for his book.

Is John (LOOK) looking for his book now?

1. Holly (GO) to the store everyday.
_____ Holly (GO), to the store now?
2. He (SPEAK) English well.
_____ Larry (SPEAK) English now?
3. The neighbor (PLAY) golf every Saturday.
_____ Is he (PLAY) golf today?
4. Does Joan often (ASK) many questions?
_____ Joan is always (ASK) questions.
5. Our teacher always (PRONOUNCE) the new words for us.
_____ the teacher (PRONOUNCE) the words now?

VERBS For sentences

- | | |
|-----------|------------|
| 1. cry | 7. worship |
| 2. sit | 8. work |
| 3. depart | 9. have |
| 4. sing | 10. rain |
| 5. buy | 11. catch |
| 6. do | 12. pull |

- III. Request that the students prepare several sentences about Easter using 3 to 4 words from the list at the end of the story.

TALK About other Easter customs, rabbits, eggs, Easter hunts, Easter hats and etc. Then ask them to tell you about Japanese holidays or events that come in April.

APRIL 25 THIS WEEK TAKES PREPARATION!

THIS ENTIRE WEEKS LESSON WILL COME FROM THE STORY, IT IS IMPORTANT TO TELL THEM OF THE RESURRECTION AND TO EMPHASIZE ITS IMPORTANCE.

I. READ THE ENTIRE STORY FOR THE CLASS, using the same procedure as before, having them read phrases and sentences. Be sure that the entire story is covered.

II. Pronounce all of the practice phrases, names and words at the end of the story calling on various members of the class to make sentences with these words.

III. Ask the class for the short sentences they were to have written about Easter using at least four words from the word list. First ask for the words they use and write them on the board and then have them read the sentences. If no one has material prepared, select three words from the story and have various students stand and talk about Easter the story using these three words.

IV. SELECT a short paragraph from the story and dictate it to the class while they write, select a few to read what they have copied and make corrections.

V. Make sure there is time at the end, so you can talk about the RESURRECTION and use pictures from the Eras. Read the story once again for the class, having your companion use the flannel pictures which can be found in the INSTRUCTOR.

Be sure to request questions about the story.

There are a number of scriptures in the story, for interest have several Bibles and request some one to read the scripture in English and then in Japanese. This can be a most important proselyting effort.

the students papers and correct the errors.

III. Ask for the short sentences they were to have written using one of the pictures and the words listed. If no one is prepared, go back to lastweeks pictures and have a few students talk about the pictures and the words.

IV. When to omit the DEFINITE ARTICLE THE.

1. The DEFINITE ARTICLE THE can be omitted before the names of people if Mr., Miss Mrs. or Dr. comes before the name. It can also be omitted before ceratin proper names like, cities, states, languages.

1. Miss Smith is a teacher.
2. Arizona is in southwestern America.
3. Joan is studying German.

V. Talk about the following picture with the class, if possible draw it on the board and with the words listed have the students construct sentences about the picture. Then have them talk about the picture using new words of their own, when new words are mentioned write them on the board for the benefit of the class. Ask if there are some who do not know the words meanings, then have the person that used the word explain the meaning in English and Japanese.

1. WHAT KIND OF PEOPLE USE THIS ROOM?
2. WHAT DO PEOPLE DO IN THIS ROOM?
3. WHOSE ROOM IS THIS?
4. IS THERE A RADIO IN THE ROOM?
5. WHAT COLOR IS THE ROOM?



6. WHO WROTE ON THE BLACK BOARD?

7. HOW MANY WINDOWS ARE THERE?

8. WHAT TIME IS IT?

9. WHERE IS THE _____?

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ROOM | 21. SHOES |
| 2. WALL | 22. BOX |
| 3. DESK | 23. DOG |
| 4. RULER | 24. CARD BOARD |
| 5. VASE | 25. PAPER |
| 6. FLOWERS | 26. LIGHT |
| 7. CLOCK | 27. CEILING |
| 8. FLOOR | 28. BOOK CASE |
| 9. PICTURES | 29. BASKET |
| 10. RAIN | 30. WASTE |
| 11. DOOR | 31. SWITCH |
| 12. ERASER | 32. DRAPES |
| 13. OPEN | 33. WORDS |
| 14. WINDOW | 34. FRUIT |
| 15. CURTAIN | 35. TENNIS |
| 16. 3 O'CLOCK | 36. BALL |
| 17. BLACK BOARD | 37. SPORTS |
| 18. CHALK | 38. RACKET |
| 19. CHAIR | 39. BAT |
| 20. APPLE | 40. DUST |

APRIL 18

I. Read the entire story for the class then re-read the previous three weeks with emphasis on this weeks section (April 18).

Chose various members of the class to read short phrases and sentences from the story, discuss the story and answer an, questions concerning words, pronunciation and meaning (this takes missionary pre aration, but the story is IMPORTANT.)

II. THE SIMPLE PRESENT TENSE AND THE PRESENT TENSE WITH ING.

EXAMPLE: Does Carol play the organ?

Yes, she plays the organ.

Is she playing it now?

No, she isn't playing the organ now.

1. When ING is used in the simple present tense it shows AN AC.

SEITO NO MICHU
ENGLISH PLAN - APRIL

APRIL 4

- I. Read the entire story for the class and re-read the section for April 4th.
- II. How to use *HOW MANY* and *HOW MUCH*.
 1. *HOW MANY* is used in questions that ask the number or quantity of things. It is always **PLURAL**. The answer to questions that ask *HOW MANY* usually include a number or such words as **SEVERAL, MANY, FEW, SOME**.
 2. When *HOW MANY* comes before a plural noun it is an adjective, but when it is used alone it is a pronoun.
 3. Use these sentences to ask the class and then have them ask on another questions using *HOW MANY* or *HOW MUCH*.
 1. How many people are here tonight?
 2. How many days are there in April?
 3. How many sisters do you have?
 4. How many go to your school?
 5. How many of you like to dance?
 4. *HOW MUCH* is used just like *HOW MANY* except it always refers to things, while *HOW MANY* can refer to things, places or people.
- III. Below is a list of words, assign them to several students to ask questions of other students using *HOW MANY* or *HOW MUCH*. SUGGEST they use **HAVE** or **ARE THERE** in the sentences.
EXAMPLE: How many chairs are there?
There are 25 chairs.

1. guards	6. people
2. books	7. this
3. doors	8. nights
4. friends	9. enemies
5. special days	10. soldiers
- IV. Below are several pictures with words listed by them, have various students talk about the pictures using the words listed. Be very attentive to pronunciation. These pictures and words can be used over and over again through out the month if time runs long.

These two people are _____?



CHAIR	TALK
TABLE	LISTEN
RADIO	SIT
BACK	LOOK
DOG	FLOWER

This man is _____?



PAPER	RIDING
TRAIN	CROWD
MORNING	PEOPLE
HAT	MONEY

This man is _____?



GLASS	MILK
EAT	FISH
FOOD	CHAIR
MEAT	MEAL
FORK	WEIGHT

This woman is _____?



WRITE	LIGHT
LAMP	PICTURE
LETTER	APPLE
JAPAN	WALL
HOUSE	TABLES
	BOYS

Ask each student to prepare a few sentences for next week using one of the pictures and the words.

- V. LEAD INTO MIA using *HOW MANY*. Write How Many and SING, DANCE, LEARN and HAVE FUN on the board.
 1. *HOW MANY* like to *LEARN*?
 2. *HOW MANY* like to *SING*?
 3. *HOW MANY* like to *DANCE*?
 4. *HOW MANY* like to *HAVE FUN*?

If you like all these come to MIA.

APRIL 11

- I. Read the first two sections of the story for the class, re-reading this weeks section.
- II. Have the students take paper and pencil and copy as you dictate (Slowly) the entire weeks section to them. Select two or three of

図

書

案

内

教義と聖約	
高価なる真珠	
モルモン経	上質革製合本.....1 1 0 0 円
教義と聖約	
高価なる真珠	合本.....3 0 0 円
モルモン経	(新訳)3 0 0 円
信仰箇条の研究	3 3 0 円
モルモンとは? (新版)	1 5 0 円
総合聖句の手引	1 5 0 円
日本系図探究要覧	1 0 0 円
アロン神権者用学科課程	1 5 0 円
メルケゼデク神権、教師と生徒用	
「モルモン経の読み方の手引」	2 0 0 円
ナザレのイエス	1 0 0 円
正しい日本史	1 0 0 円
家督権の祝福	1 0 0 円
料理の作り方	5 0 円
求道者教育法	1 2 0 円
神の王国	2 3 0 円
イエス・キリスト	3 0 0 円

日曜学校用

モルモン経物語	1 5 0 円
旧約聖書物語	1 5 0 円
家族の昇栄	2 0 0 円
福音の実践	2 0 0 円
奇しきみわざ(上)(下)	2 0 0 円
我等の標準聖典	2 0 0 円
古代の使徒	1 5 0 円
シオン山の救い手たち	2 0 0 円
教義と聖約の教え	2 0 0 円

M I A 用

我ら指導者のことば	2 0 0 円
我らは信じる	2 0 0 円
我らは奉仕する	1 5 0 円
生活の目標	1 5 0 円
M I A ・エンサイン・ローレルの手引	1 5 0 円
演説が上手になる法	1 5 0 円
素晴しき考え	2 0 0 円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	4 0 0 円
レクリエーション歌集	4 0 0 円

.....注文は各支部長へ.....

THE CHURCH OF JESUS CHRIST OF LATTER-DAY SAINTS
NORTHERN FAR EAST MISSION

14 Azabuhirou-cho Minato-ku Tokyo. Japan

支 部 所 在 地

北海道地方部	旭川市八条五丁目 MIA集會場 旭川公会堂 電話(二一五五四)
室蘭	室蘭市幸町八九 電話(七〇五四)
小樽	小樽市富岡町一ノ三五 電話(二一八二二四)
札幌	札幌市北二条西二丁目 電話(六三七八六六)
東中央地方部	高崎市並榎町二七五 甲府市山田町六三 松本市同心町六一二 新潟市中大畑町五五七 電話(二一八六六〇)
仙台	仙台市光禪寺通り二八 電話(二五〇八九七)
東京中央	東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇八一三三〇七)
東京北	東京都中野区江原町一ノ八ノ十四 東京都江戸川区小岩町六七八〇 電話(六五七一五二三三)
東京南	東京都大田区南千束町二四九 電話(七二九一六三一)
東京西	東京都武蔵野市吉祥寺町東一ノ七 電話(二一六七六四)

山形	山形市七日町一一八 横浜市港北区篠原町二九 電話(四九一八七七二)
西中央地方部	大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八 電話(六二一八三三七)
阿倍野	福岡市浄水町四六 福岡市古田町古江四〇〇ノ三 電話(三一六一三五)
福岡	金沢市上胡桃町一一 京都市左京区下鴨東半木町 河合方 名古屋市中昭和区北山町三ノ四一 電話(七三三四二一〇)
京都	兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四 電話(五一〇一四一)
西宮	大阪府豊中市岡町北二ノ一八 電話(二一三三六)
岡町	岡山市北方七〇
岡ノ宮	神戸市灘区篠原本町四ノ三五 電話(八六一二六〇二)
三ノ宮	山口県柳井市今市三九一
柳井	沖繩宣野灣市野嵩区三二八 沖繩那覇市松尾区一三九
沖繩地方部	東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇二一四〇一〇)
普天間	
那覇	
建築部事務所	

聖 徒 の 道

1964年4月1日発行

振替口座 東京 16226 番

発行人兼編集人 ダウエン・N・アンダーセン

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会北部極東伝道部

東京都港区麻布広尾町14

印刷所 合名会社 三五堂